

事業名：学校図書館事業

学校教育課 学校教育係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学校図書館の図書の新規購入・更新

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	図書購入冊数	冊	7,519	7,484	7,569	6,883
活動指標 2	環境改善にかかる費用	千円	1,052	1,152	1,195	1,400

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校図書館の蔵書の充実を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	蔵書率	%	98.9	99.5	99.9	100
成果指標 2	学校図書館図書標準蔵書冊数達成校割合	%	76	88	96	100

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	14,669	14,385	14,418	13,130
正職員人件費 (B)		千円	6,084	5,948	2,984	3,160
総事業費 (A+B)		千円	20,753	20,333	17,402	16,290

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	図書及び書架の購入	・ 図書購入費	小学校 7,612千円 中学校 3,837千円
		・ 書架購入費	小学校 897千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：教育研究会事業

学校教育課 教職員係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市教育研究会

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	教育研究会所属教員数	人	620	621	655	650
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市教育研究会が行う事業の経費の一部を補助する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	4,362	4,880	5,000	5,000
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

教職員の資質を向上させるための研修会等を開催する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	研修会等開催日数	日	97	92	41	77
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	4,362	4,880	5,000	5,000
正職員人件費 (B)		千円	760	1,487	2,239	2,371
総事業費 (A+B)		千円	5,122	6,367	7,239	7,371

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	江別市教育研究会に対し所要の経費を補助する。	江別市教育研究会補助金 5,000千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：校外学習推進事業

学校教育課 学校教育係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・スキー授業を受ける小中学校児童生徒
- ・さっぽろ連携中枢都市圏「札幌市子どもの文化芸術体験事業」に参加する小学校児童

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	スキー授業を受ける小中学校児童生徒数	人	6,100	5,357	5,232	4,431
対象指標 2	「札幌市子どもの文化芸術体験事業」に参加する小学校児童数	人	816	970	1,434	1,113

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・学校単位で行うスキー授業のうち、1回分のバス賃借料を負担する。
- ・「札幌市子どもの文化芸術体験事業」に参加するために、学校が借り上げるバス賃借料を負担する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	借上したスキーバスの台数	台	165	156	137	139
活動指標 2	借上した「札幌市子どもの文化芸術体験事業」のバス台数	台	24	29	33	35

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・スキー授業実施に係る保護者の負担軽減により、スキー授業の円滑な実施を図る。
- ・「札幌市子どもの文化芸術体験事業」への参加に係る保護者負担を軽減し、参加を促進することにより、教育活動の充実を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	スキー授業に参加した児童生徒の延人数	人	6,100	5,357	5,232	4,431
成果指標 2	「札幌市子どもの文化芸術体験事業」に参加した児童の延人数	人	816	970	1,006	1,113

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	13,725	17,369	17,975	19,751
正職員人件費 (B)		千円	1,521	1,487	746	790
総事業費 (A+B)		千円	15,246	18,856	18,721	20,541

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・小中学校がスキー授業等の実施するにあたり、1回分のバス賃借料を負担する。 ・小学校が「札幌市子どもの文化芸術体験事業」に参加するにあたり、バス賃借料を負担する。 （令和6年度からKitaraファースト・コンサートに加え、ニッセイ名作シリーズ鑑賞が実施されている）	○スキー授業等 ・小学校 12,694千円 ・中学校 2,925千円 ○札幌市子どもの文化芸術体験事業 - Kitaraファースト・コンサート ・小学校 2,531千円 - ニッセイ名作シリーズ鑑賞 ・小学校 614千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別市教育研究所事業

学校教育課 教職員係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市教育研究所

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	研究所数	箇所	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

教育に関する調査、研究、資料の収集整理などを行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	研修会等開催回数	回	1	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市の教育研究の進展と充実を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	研修会等参加者数	人	241	230	269	300
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	2,714	2,720	3,264	3,524
正職員人件費 (B)		千円	1,521	1,487	2,239	2,371
総事業費 (A+B)		千円	4,235	4,207	5,503	5,895

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	- 教育に関する調査、資料の収集及び教育行政の情報提供 - 教育相談、研修及び関係各機関との交流 - 教育研究所所報等の出版	教育研究所運営経費 3,111千円 教職員セミナー等研修会開催経費 182千円 家庭向けリーフレット作成経費 61千円	

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：特別支援学級生活介助事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育	戦 略	
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実	具体的施策	
開始年度	—	終了年度	—
	区分1	継続	区分2 単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の特別支援学級の児童・生徒

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小中学校の特別支援学級の児童生徒数	人	331	364	388	421
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・特別支援学級を設置している小中学校の児童生徒の在籍状況に応じて特別支援教育支援員を配置する。
- ・特別支援学級の運営に必要な環境整備を行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	特別支援教育支援員（特別支援学級）数	人	38	39	38	41
活動指標 2	特別支援学級教員数	人	123	134	132	136

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

障がいの状態に応じた支援により、児童生徒の生活や学習上の困難が改善・克服される。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	教職員（特別支援学級教員及び介助員）1人当りの特別支援学級在籍児童生徒数	人	2.06	2.1	2.28	2.38
成果指標 2						

事業費の推移	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)	千円	52,044	56,176	72,774	92,321
正職員人件費 (B)	千円	3,802	3,717	3,732	3,952
総事業費 (A+B)	千円	55,846	59,893	76,506	96,273

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
7年度 ・特別支援教育支援員（特別支援学級）の配置 ・特別支援学級の運営等	・特別支援教育支援員（特別支援学級）報酬・手当：86,146千円 ・特別支援学級等の運営経費（消耗品等）：2,896千円 ・特別支援教育に必要な備品等の購入費：2,195千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：学校給食事業

給食センター 業務係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取組の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

給食センターで作った給食を専用搬送車両で市内全公立小中学校へ配送し、各学校に配置している配膳員が各クラスに配膳する。
給食に地場産野菜を提供してくれる農家団体やＪＡ道央と調整し、出来るだけ多くの地場産野菜を活用する。
「江別市学校給食会運営費補助要綱」に基づき、江別市学校給食会へ補助金を支出する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	年間給食センター稼働日数	日	202	201	199	200
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

正しい食事のあり方や、望ましい食生活を身につけ、食事を通じて育成時に必要な食事を摂取（栄養バランス、量）し、健康が維持される。また、食事、給食活動を通じて、豊かな心が育成される。
児童生徒に新鮮で安全安心な地場産野菜をたくさん使って、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより健康の増進と体位の向上に貢献する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	地場産野菜の使用率	%	43.5	39.8	50	50
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	291,916	304,254	349,358	388,176
正職員人件費 (B)		千円	116,341	115,955	111,960	118,560
総事業費 (A+B)		千円	408,257	420,209	461,318	506,736

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	- 調理場運営、維持管理費用 - 配膳員等の給食関係職員の人件費 - 給食配送や弁当箱洗浄など給食関係業務委託費 - 江別市学校給食会の運営費への補助金	- 学校給食調理補助員等報酬及び期末勤勉手当 145,228千円 - 重油代 31,430千円 - 電気料 29,100千円 - 水道料 12,900千円 - 学校給食配送業務等の委託料 112,668千円 - 江別市学校給食会運営費補助金 22,701千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：遠距離通学送迎事業

総務課 総務係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

遠距離通学が必要な児童生徒

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	遠距離通学が必要な児童生徒数	人	113	115	129	120
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

登下校の予定時間に合わせ、委託先の会社がスクールバス及びスクールタクシーを運行し、児童生徒を送迎する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	延べ運行時間数	時間	3,596	3,369	4,600	4,500
活動指標 2	利用児童生徒数	人	113	115	129	120

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

居住する遠隔地から学校までの間を、安全に通学させる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	事故等により、スクールバスを運行できなかった便数	便	0	0	0	0
成果指標 2	事故等により、スクールタクシーを運行できなかった便数	便	0	0	0	0

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	53,873	61,215	79,990	81,270
正職員人件費 (B)		千円	3,802	3,717	3,732	3,952
総事業費 (A+B)		千円	57,675	64,932	83,722	85,222

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	スクールバス及びスクールタクシーの運行	・ 小学校	22,380千円
		・ 中学校	58,890千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：奨学資金貸付金

学校教育課 学校教育係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和41年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住の高校生

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内在住の高校生数	人	3,510	3,450	3,490	3,414
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

高等学校への修学意欲があるにもかかわらず経済的な理由により、修学困難な高校生に修学に必要な資金の一部を貸与する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	奨学資金申請者数	人	4	3	3	12
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

経済的に修学困難な高校生に教育を受ける機会を与える。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	奨学資金貸与認定者数	人	4	3	3	12
成果指標 2	奨学資金貸与者の就学率	%	100	100	100	100

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	663	567	2,269	2,269
正職員人件費 (B)		千円	3,042	2,973	1,493	790
総事業費 (A+B)		千円	3,705	3,540	3,762	3,059

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	奨学金の貸付	貸付金 2,112千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：教育扶助

学校教育課 学校教育係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校児童生徒の保護者

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を支給する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	就学援助認定者数	人	1,309	1,229	1,234	1,223
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

児童生徒が等しく義務教育を受けられるようにする。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	就学援助認定率	%	15.1	14.1	14.1	13.9
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	152,590	143,123	163,629	157,929
正職員人件費 (B)		千円	7,604	7,434	7,464	7,904
総事業費 (A+B)		千円	160,194	150,557	171,093	165,833

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	児童生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費、医療費、クラブ活動費、卒業アルバム代を支給する。	就学援助に必要な経費 157,929千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市内私立高校助成金

総務課 総務係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に私立高校を設置する学校法人

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内の私立高校数	校	2	2	2	2
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市私立学校補助金交付要綱」に基づき、私立高校の特色のある教育を支援又は教材教具の充実を図るために必要な補助をする。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	6,000	6,000	6,000	6,000
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各校の建学精神に基づき個性豊かな教育活動を積極的に展開し、特色ある教育が一層促進できるようになる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	市内の中学校卒業生のうち、市内の私立高校に入学する生徒の割合	%	9	8	9	9
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	6,000	6,000	6,000	6,000
正職員人件費 (B)		千円	1,141	1,115	1,120	1,186
総事業費 (A+B)		千円	7,141	7,115	7,120	7,186

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	市内私立高等学校に対し助成金を支出	・ 特色のある教育を実施するための事業への補助金 ・ 教材教具の整備事業への補助金 ・ その他教育委員会が必要と認める事業の補助金 ・ 6,000千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：青少年文化賞顕彰事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学生以上24歳以下の市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小学生以上24歳以下の市民	人	19,278	19,134	19,134	18,920
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

各種コンクール等において優秀な成績を収めるなど、市内における芸術及び文化の振興に貢献した青少年に対し、「江別市青少年文化賞規則」等に基づき各賞を贈る。贈呈式は青少年スポーツ賞と共同開催している。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	審査会開催回数	回	3	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

芸術及び文化に対する意識を高め、創造性豊かな青少年の育成を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	受賞者数	人	27	22	19	22
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	522	470	476	518
正職員人件費 (B)		千円	760	1,115	1,120	1,186
総事業費 (A+B)		千円	1,282	1,585	1,596	1,704

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	全国・全道規模の各種コンクールで優秀な成績を収めた青少年を表彰する。	贈呈品代 518千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：児童生徒健全育成事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・専任指導員を配置し、巡回指導等を行う。
- ・青少年健全育成協議会を開催する。
- ・小・中・高の生徒指導担当教員や市の子育て支援課、警察などで構成する江別市指導連絡会等を開催し、関係機関の連携を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	巡回指導実施回数	回	182	69	60	60
活動指標 2	関係機関連携会議開催回数	回	14	14	14	14

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・児童生徒による問題行動が発生しなくなる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	声かけ・指導を行った児童生徒数	人	29	32	25	30
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	5,175	5,862	5,994	6,521
正職員人件費 (B)		千円	6,463	6,318	7,464	7,904
総事業費 (A+B)		千円	11,638	12,180	13,458	14,425

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・巡回指導の実施 ・青少年健全育成協議会の開催 ・江別市指導連絡会等の開催	・専任指導員報酬及び手当 6,221千円 ・青少年健全育成協議会委員報酬 58千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：不登校児童生徒支援事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育				戦 略	1 子どもが主役のまちをつくる			
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実				具体的施策	(5) 教育相談・支援の充実			
開始年度	平成16年度	終了年度	—		区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1 小中学校児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2 不登校児童生徒数	人	286	315	345	375

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・相談窓口を設置し、専任指導員等が相談対応する。
- ・スクールカウンセラーによる教育相談を実施する。
- ・不登校児童生徒を対象に、教育支援センター「ねくすと」を運営する。
- ・校内登校支援室に登校サポーターを派遣する。

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1 不登校相談件数	件	62	63	50	60
活動指標 2 教育支援センター実施回数	回	178	209	208	208

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

不登校の児童生徒が、再登校できるようになる又は学校外の機関等で相談・支援を受けるなど、状況が変化する。

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1 学校や学校外の機関等とつながりのある不登校児童生徒の割合	%	49	77	80	80
成果指標 2					

事業費の推移	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)	千円	8,548	12,245	19,379	24,482
正職員人件費 (B)	千円	8,364	3,717	7,837	8,299
総事業費 (A+B)	千円	16,912	15,962	27,216	32,781

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
7年度 ・相談窓口の設置 ・教育支援センター「ねくすと」の運営 ・スクールカウンセラーによる教育相談の実施 ・校内登校支援室へ登校サポーターの派遣	・専任指導員報酬及び手当 12,392千円 ・教育相談員報酬 207千円 ・登校サポーター謝礼 5,670千円 ・教育支援センター建物等賃借料 2,769千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：「心の教室」相談事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育	戦 略	
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実	具体的施策	
開始年度	平成10年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2
	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・児童及び保護者

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1 小学校児童数	人	5,825	5,821	5,890	5,821
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・相談員を小学校へ派遣し、学校生活や日常の様々な悩みや困りごとの相談に応じる。

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1 相談員派遣学校数	校	17	17	17	17
活動指標 2 延べ派遣時間	時間	5,194	5,068	5,285	6,600

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・児童及び保護者の悩みが軽減、解消される。
- ・児童が安心して学校生活を過ごせる。

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1 心の教室の延べ利用件数	件	13,580	14,228	13,904	17,400
成果指標 2 延べ相談件数	件	2,389	1,446	1,918	2,400

事業費の推移	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)	千円	5,301	5,158	5,550	8,059
正職員人件費 (B)	千円	1,521	1,487	1,493	1,581
総事業費 (A+B)	千円	6,822	6,645	7,043	9,640

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
7年度 小学校17校に心の教室相談員を派遣し、児童・保護者の悩みや相談に対応する。	・心の教室相談員報酬：7,957千円 ・消耗品費：102千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：地域一体型学校の顔づくり事業

総務課 総務係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内市立小・中学校

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内市立小・中学校数	校	25	25	25	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めるため、事業を行う小中学校に対し、事業費の一部を支援する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	事業実践項目数	項目	38	38	38	39
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

家庭・地域が一体となって事業を展開し「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めることにより、教育の充実を図ることができるようになる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	地域住民等の事業への参加人数	人	3,646	4,768	5,600	5,100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	2,664	2,878	3,022	3,220
正職員人件費 (B)		千円	1,901	1,858	1,866	1,976
総事業費 (A+B)		千円	4,565	4,736	4,888	5,196

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	各学校の事業に要する経費の一部を学校配分予算として支出	・ 講師の謝礼等	566千円
		・ 消耗品購入費	1,623千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スクールカウンセラー事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・小中学校にカウンセラー（臨床心理士等）を派遣し、対象校の児童生徒をカウンセリングの対象として相談業務にあたる。（報酬の一部は北海道のスクールカウンセラー活用事業を活用）

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	派遣学校数	校	25	25	25	25
活動指標 2	延べ相談時間	時間	723	735	1,341	1,388

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・児童生徒、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	延べ相談件数	件	958	730	1,900	1,967
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	32	32	2,664	2,664
正職員人件費 (B)		千円	1,521	1,487	1,493	1,581
総事業費 (A+B)		千円	1,553	1,519	4,157	4,245

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	スクールカウンセラーを小中学校へ派遣し、相談に対応する。	・スクールカウンセラー報酬：2,632千円 ・消耗品費：32千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：特別支援教育推進事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小中学校の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒数	人	652	686	686	965
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・特別支援教育支援員（通常学級）を配置する。
- ・専門家チームが巡回相談等により学校・保護者へ助言する。
- ・教員等の能力向上のための研修会を開催する。
- ・支援に必要な環境整備を行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	巡回相談等実施回数	回	104	102	144	154
活動指標 2	特別支援教育支援員（通常学級）の配置数	人	38	40	42	44

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

個別の教育的ニーズに応じた支援により、児童生徒の生活や学習上の困難が改善・克服される。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	通常学級で特別な支援を必要とする児童生徒のうち巡回相談や通級指導を受けた割合	%	35	36	37	30
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	36,403	39,749	44,884	51,862
正職員人件費 (B)		千円	7,984	7,805	7,837	8,299
総事業費 (A+B)		千円	44,387	47,554	52,721	60,161

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・特別支援教育支援員（通常学級）の配置 ・特別支援教育専門家チームの経費 ・特別支援教育に係る施設整備	・特別支援教育支援員（通常学級）等の報酬・手当：48,714千円 ・巡回相談に係る専門家チーム委員の謝礼：789千円 ・施設整備費：1,397千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	成果指標向上に向け、通級指導教室の新規開設を含めた在り方について検討する。

事業名：キャリア教育推進事業

学校教育課 学校教育係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取組の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校の児童生徒

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内小中学校の児童生徒	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

中学生の職場体験や、幅広い専門的知識を有する社会人による講演を行う。
 ※中学生の職場体験について、令和2年度、令和3年度及び令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	社会人による講演を実施した回数	回	16	28	19	25
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たして、自分らしい生き方を実現できるよう、必要となる能力や態度を身に付ける。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合	%	66	64.9	67.5	70.2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	532	837	976	976
正職員人件費 (B)		千円	6,083	3,717	5,225	4,742
総事業費 (A+B)		千円	6,615	4,554	6,201	5,718

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	キャリア教育をより充実させるため、職場体験のみではなく、幅広い専門知識を有する社会人講師による講演により、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す。	・中学生の職場体験実施に係る経費（マナー研修、礼状送付等） 626千円 ・社会人を活用した講演に係る経費 350千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：学校給食食器更新事業

給食センター 業務係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市学校給食用食器検討委員会において、安心して提供できる学校給食用食器の選定について検討する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	食器更新・追加数	個	2,280	2,600	3,600	4,000
活動指標 2	検討委員会開催数	回	3	0	0	5

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

安全、安心な食器で喫食することにより、楽しく食事し、豊かな心が育つ。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	食器破損率	%	4.37	4.52	6	6
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	380	372	373	395
総事業費 (A+B)		千円	380	372	373	395

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	安全、安心な食器を提供するため、破損した食器の補充管理、食器についての情報収集を行う。	人件費事業

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小中学校学習サポート事業

学校教育課 学校教育係

政 策	6 子育て・教育	戦 略	1 子どもが主役のまちをつくる
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実	具体的施策	(4) 教育内容の充実
開始年度	平成21年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2 補助 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

放課後の学習支援や、複数の教員が役割を分担し協力し合いながら指導する「チーム・ティーチング」などの学校支援を行う学習サポート教員（教員資格者）と、書写やミシンなど、教科指導以外の学校支援を行う学校支援地域ボランティアを募集し、市内小中学校（全25校）に派遣する。

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	学習サポート教員の登録人数	人	36	36	34	33
活動指標 2	学校支援地域ボランティアの登録人数	人	40	43	85	85

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校における、多様な学習機会を提供する。

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	学習サポート教員の年間派遣回数	回	3,464	3,470	3,515	3,820
成果指標 2	学校支援地域ボランティアの年間派遣回数	回	567	563	693	693

	事業費の推移	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
	事業費 (A)	千円	9,322	9,363	13,000	14,299
	正職員人件費 (B)	千円	3,042	3,717	3,732	3,952
	総事業費 (A+B)	千円	12,364	13,080	16,732	18,251

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
7年度	・市内小中学校の全校に学習サポート教員及び学校支援地域ボランティアを派遣する。	・学習サポート教員派遣経費 10,341千円 ・コーディネーター報酬等 3,112千円 ・地域ボランティア派遣経費 485千円 ・学生ボランティア派遣経費 361千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子どものための読書環境整備事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	令和 7年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の子どもとボランティア

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内小中学校数	校	25	25	25	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・司書教諭等と連携して多様な読書活動を企画・実施し、学校図書館サービスの改善・充実を図るため、市内小・中学校を巡回する司書と支援司書を配置する。
 ・児童生徒の自ら学ぼうとする意欲を喚起し、学力の向上を後押しするため、児童生徒の朝読書や調べ学習、総合的な学習の時間などの学校が行う教育活動を支援する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	司書巡回学校数	校	10	17	17	17
活動指標 2	司書短期間支援学校数	校	12	12	12	29

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒が発達の段階に応じて読書の楽しさを知り、読書の幅が広がり、読書体験が深まるようになる。
 ・児童生徒が読書活動を通じて生涯にわたり絶えず自発的に学ぼうとする意欲や習慣が身に付くようになる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	司書巡回によって増加した貸出冊数	冊	803	922	1,184	1,300
成果指標 2	司書巡回期間のボランティア活動回数	回	13	53	20	20

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	8,659	11,071	13,207	14,780
正職員人件費 (B)		千円	4,562	4,460	1,120	1,186
総事業費 (A+B)		千円	13,221	15,531	14,327	15,966

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・司書による学校図書館の環境整備への支援 ・司書による学校支援 ・司書と学校図書館ボランティアとの協働による支援	・会計年度任用職員報酬等：14,498千円 （巡回司書4名、支援司書1名） ・学校図書館司書必須研修参加費等：37千円 ・資料等の消耗品：145千円 ・団体貸出用図書、朝読書用図書、調べ学習用図書購入費：100千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：食育推進事業

給食センター 業務係

政 策	6 子育て・教育	戦 略	
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実	具体的施策	
開始年度	平成21年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2 単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市学校給食食育運営委員会において取りまとめた「江別市の公立小中学校における食育の推進」により示した方向性に従い、学校が進める食育に関する活動及び事業に対して、必要な指導、援助を行う。
栄養教諭が、学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	運営委員会開催数	回	0	0	0
活動指標 2	栄養教諭による「食に関する指導」実施学級数	学級	285	287	330

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

食事の重要性を理解し、食事の自己管理能力や食品を選択する能力を身に付けることによって、豊かで健全な食生活を実践することができる人間が育つ。

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合	%	81.6	79.8	85
成果指標 2					

事業費の推移	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)	千円	1,521	1,487	1,493	1,581
総事業費 (A+B)	千円	1,521	1,487	1,493	1,581

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
7年度 栄養教諭が学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。	人件費事業

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：児童生徒体力向上事業

学校教育課 学校教育係

政 策	6 子育て・教育	戦 略	
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実	具体的施策	
開始年度	平成22年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2 単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2	モデル校の児童数	人	209	223	217	230

手段（事務事業の内容、やり方）

北翔大学の協力のもと、近隣に位置する文京台小学校をモデル校に指定し、児童生徒の体力向上に向けた取組を行う。
また、モデル校以外で体力向上の取組が広がるよう、普及出前授業を実施する。

※活動指標 2については、令和3年度まで「朝運動プログラム」、令和4年度からは「江別がときめくスポーツにトライ大作戦（スポトラ）」の数値となっている。

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	体力向上に取り組んだ回数	回	12	24	24	24
活動指標 2	普及出前授業に参加した児童数	人	232	442	378	413

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

体を動かすことを楽しいと感じてもらうとともに、児童生徒の体力向上を図る。

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	児童生徒で体力が向上した割合（モデル校）	%	56	50	56	60
成果指標 2	体を動かすことが楽しいと感じている児童の割合（モデル校及び普及出前授業実施校）	%	89	91	88	89

事業費の推移	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)	千円	647	647	648	648
正職員人件費 (B)	千円	1,521	2,230	2,239	2,371
総事業費 (A+B)	千円	2,168	2,877	2,887	3,019

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
7年度	・小学校1校をモデル校とし、体力向上のために継続的に見える取り組みを行い、その効果の検証を行う。 ・江別市体力向上「スポトラ」事業普及のための出前講座を市内小学校6校（予定）で実施する。 ・市内全小学校で「走り方教室」を実施する。	北翔大学への委託料 648千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：特別支援教育就学奨励費

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校特別支援学級及び通級指導教室に通学する児童生徒の保護者

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小中学校特別支援学級及び市内小学校通級指導教室等に通学する児童生徒の保護者数	人	513	571	595	608
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学用品費、給食費、修学旅行費、通学費等を支給する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	特別支援教育就学奨励費認定者数	人	287	302	311	336
活動指標 2	通学費認定者数	人	171	181	163	224

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

特別な支援を必要とする児童生徒の保護者の経済的負担が軽減される。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	特別支援教育就学奨励費認定率	%	55.9	52.9	53.3	55.3
成果指標 2	通学費認定率	%	33.3	31.7	28	36.8

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	9,174	9,952	14,352	15,589
正職員人件費 (B)		千円	4,562	4,460	4,478	4,742
総事業費 (A+B)		千円	13,736	14,412	18,830	20,331

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	通学費、給食費、修学旅行費、学用品費等の一部補助 ※「要保護児童生徒援助補助金及び特別支援教育就学 奨励費補助金要綱」に基づき、支出の2分の1を補助 する。	通学費、給食費、修学旅行費、学用品費等の一部補助 小学校 8,512千円 中学校 7,077千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スクールソーシャルワーカー事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育			戦 略	1 子どもが主役のまちをつくる				
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策	(5) 教育相談・支援の充実				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・課題を抱える児童生徒や保護者に対する医療受診や福祉サービス利用等の働きかけ
- ・学校や関係機関（医療機関、児童相談所、福祉サービス事業所等）との連携や調整
- ・保護者や学校への児童生徒理解等に関する助言や相談支援

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	3	3	4	4
活動指標 2	延べ相談支援件数	件	764	1,041	1,070	1,070

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・児童生徒、保護者の抱える課題が解決される。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	支援児童生徒数	人	175	208	195	200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	7,427	7,210	11,257	12,851
正職員人件費 (B)		千円	3,042	2,973	2,986	3,162
総事業費 (A+B)		千円	10,469	10,183	14,243	16,013

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	福祉の専門知識を有するスクールソーシャルワーカーが、課題を抱える児童生徒や保護者に対する支援を行う。	・スクールソーシャルワーカー報酬及び手当：12,776千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：中文連・中体連補助金

学校教育課 学校教育係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内中学校生徒

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	連盟の会員数	人	3,410	3,481	3,510	3,533
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市中学校文化連盟及び江別市中学校体育連盟に対して、生徒数に応じて支払う負担金を補助するほか、大会に参加するための経費の一部を補助する。
また、全道大会が江別市で開催される際に、開催種目の実行委員会に対し、開催・運営するための経費の一部を補助する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額（中文連・中体連補助金）	千円	1,125	1,149	1,160	1,175
活動指標 2	補助金額（中文連・中体連参加補助金）	千円	0	12,752	14,595	14,680

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

保護者等の経済的負担を軽減し、多くの生徒が文化活動や、体育活動に参加できる環境を整えることで、スポーツ・文化に対する意識の向上及び心身の健やかな発達をめざす。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	市内中文連・中体連大会開催数	回	16	16	16	16
成果指標 2	大会参加者数	人	0	2,466	2,466	2,491

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	1,125	13,900	15,755	15,855
正職員人件費 (B)		千円	760	1,487	2,239	2,371
総事業費 (A+B)		千円	1,885	15,387	17,994	18,226

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	市内中文連、中体連が負担する石狩管内中学校文化連盟の負担金、石狩管内中学校体育連盟の負担金及び中文連、中体連各種大会・発表会に参加する経費の一部を補助する。 【補助対象となる大会や発表会】 ・中文連吹奏楽コンクール、演劇発表会等 ・中体連の管内、全道、全国大会 江別市で水泳の全道大会が開催されるため、開催・運営に係る経費の一部を補助する。	・市内中学校文化連盟負担金 214千円 ・市内中学校体育連盟負担金 961千円 ・中文連参加補助金 2,763千円 ・中体連参加補助金 11,717千円 ・全道大会開催地補助金 200千円	

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小中学校外国語教育支援事業

学校教育課 学校教育係

政 策	6 子育て・教育			戦 略	1 子どもが主役のまちをつくる				
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策	(4) 教育内容の充実				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小・中学校の児童生徒

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内公立小中学校に、外国語の授業を支援する外国語指導助手（10名）を派遣する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	外国語指導助手が入った授業の年間時数	時数	7,293	6,703	6,622	6,632
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

諸外国の生活や文化等について理解を深め、児童生徒のコミュニケーションに関する関心を高める。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	外国語指導助手との外国語の授業を楽しいとする児童生徒の割合	%	87	89	90	89
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	34,455	34,829	37,879	41,545
正職員人件費 (B)		千円	6,083	5,203	3,732	3,952
総事業費 (A+B)		千円	40,538	40,032	41,611	45,497

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・外国語の授業において、複数の教員が役割を分担しながら指導する「チーム・ティーチング」などの学習支援を行う。 ・長期休業中（夏季及び冬季）における外国語活動の実施。	外国語指導助手報酬 39,892千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：コミュニティ・スクール事業

総務課 総務係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内市立小・中学校

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内市立小・中学校数	校	25	25	25	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

全小中学校の学校運営委員会委員に報酬を支給するとともに、各学校運営委員会を支援する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	コミュニティ・スクール設置校	校	25	25	25	25
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校・家庭・地域が、目指す子ども像を共有し、一体となって子どもを育てる持続可能な仕組みを持った学校づくりを行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	学校運営委員会開催回数	回	75	76	78	75
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	1,485	1,519	1,685	1,917
正職員人件費 (B)		千円	3,802	3,717	3,732	3,952
総事業費 (A+B)		千円	5,287	5,236	5,417	5,869

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	学校運営委員会を運営するための経費	・学校運営委員会委員報酬 1,350千円 ・市外研修旅費 45千円 ・広報活動費等諸経費 500千円 ・委嘱状印刷経費 22千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：医療的ケア児支援事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小中学校において医療的ケアの対象となる児童生徒

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小中学校において医療的ケアの対象となる児童生徒数	人	2	2	2	4
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・学校に看護師を配置し、医療的ケアを必要とする児童生徒への支援を行う。
- ・医療的ケア運営協議会において実施に関する協議を行い、支援に当たっては安全かつ適正に医療的ケアを実施する。
- ・医療的ケアに伴う備品購入や施設整備を行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	学校看護師数	人	3	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

医療的ケアの対象となる児童生徒が安心して就学できる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	学校において医療的ケアを実施した人数	人	2	2	3	4
成果指標 2	学校における医療的ケア児の受入れ可能人数	人	2	2	3	4

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	465	484	259	310
正職員人件費 (B)		千円	23,572	23,042	23,138	24,502
総事業費 (A+B)		千円	24,037	23,526	23,397	24,812

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・学校看護師の配置 ・医療的ケア運営協議会の運営	・医療的ケア運営協議会委員への謝礼：186千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小中学校ICT環境整備事業

学校教育課参事（教育情報化）

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取組の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒及び教職員

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2	小中学校教職員数	人	631	648	671	661

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・児童生徒や教職員が学習活動で活用する端末やコンテンツの整備・更新を適切に行う。
- ・文部科学省が示す、安定かつ高速なインターネット回線と高いセキュリティと利便性が確保されたネットワーク環境を構築・管理する。
- ・教職員のICT活用支援や研修を実施する。

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	学習者用端末整備台数	台	9,115	9,115	9,115	9,115
活動指標 2	仮想端末配備台数	台	0	700	700	714

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・ICTの効果的な活用によって、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に図り、確かな学力の定着に繋げる。
 - ・校務に要する時間の削減によって、教職員が児童生徒と向き合う時間を増やせるよう環境を整える。
- ※全国学力・学習状況調査の設問項目が変更されたことから、成果指標「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う児童生徒の割合」を令和7年度から改めた。

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を効果的に活用できる児童生徒の割合	%	0	0	84.27	85.9
成果指標 2	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れている学校の割合	%	47.9	48.15	53	58

	事業費の推移	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
	事業費 (A)	千円	38,375	65,244	142,424	588,184
	正職員人件費 (B)	千円	4,562	4,460	14,928	15,808
	総事業費 (A+B)	千円	42,937	69,704	157,352	603,992

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
7年度	・児童生徒用タブレット端末が更新時期を迎えたことから、北海道の共同調達を活用して、計画的に整備・更新を行う。 ・指導者用タブレット端末が更新時期を迎えたことから、備荒資金を活用して、全教職員の端末を一齐に更新する。 ・学習活動が円滑に行われるよう、安定かつ高速なインターネット回線と、セキュリティと高い利便性が確保されたネットワーク環境を維持管理する。 ・GIGAスクールサポーターの巡回派遣やヘルプデスクの設置など、専門知識を有する外部事業者による迅速なサポート体制を維持する。 ・学びの保障のため、通信環境のない世帯へモバイルルーターを貸与する。	・児童生徒用タブレット端末更新 299,397千円 ・指導者用タブレット端末更新 180,000千円 ・仮想端末使用料 26,013千円 ・校務支援システム利用料 11,176千円 ・校務用コンピュータ等償還金 3,819千円 ・運用保守関連経費等 62,712千円 ・高速インターネット回線通信料 5,067千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小中一貫教育推進事業

学校教育課 学校教育係

政 策	6 子育て・教育	戦 略	1 子どもが主役のまちをつくる
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実	具体的施策	(4) 教育内容の充実
開始年度	令和 4年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2 単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

小中学校、家庭、地域で目指す子ども像を共有するとともに、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を行うための小中一貫教育推進体制を整備する。

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	小中一貫教育導入学校数	校	2	25	25	25
活動指標 2	小学6年生の中学校登校日数	日	19	46	46	46

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

小中学校・家庭・地域が中学校卒業時の望ましい姿を共有しながら、義務教育の9年間で系統性と発達段階に応じた連続性のある指導に取り組む一貫教育を推進することで、目指す子ども像を実現する。

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	「自分にはよいところがある」と回答した生徒の割合	%	78	81	84.2	87.5
成果指標 2	「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合	%	66	64.9	67.5	70.2

	事業費の推移	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
	事業費 (A)	千円	2,314	1,082	2,526	2,974
	正職員人件費 (B)	千円	6,083	3,717	5,225	4,742
	総事業費 (A+B)	千円	8,397	4,799	7,751	7,716

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
7年度	「江別市小中一貫教育基本方針」に基づき、市教委と各中学校区が行う様々な取組を通じて、学習習慣や生活規律の定着、中1ギャップの緩和、異学年交流の促進、教職員の意識改革などにより、目指す子ども像を実現する。	・小学校6年生が中学校登校を行う際に利用するバス代等 1,695千円 ・研修、会議の運営等に要する経費 529千円 ・小中一貫教育全国サミット等の先進事例等視察旅費 444千円 ・中学校の教科書改訂に伴う、研究用教科書購入経費 306千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：学校給食原材料費高騰対策事業（物価高騰対策）

給食センター 業務係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取組の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校の児童生徒等

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

保護者負担を増加させることなく、給食原材料費を確保するため、学校給食の原材料等を発注している江別市学校給食会へ補助金を交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金交付回数	回	1	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校給食の原材料費が高騰した状況において、栄養バランスが保たれた学校給食の安定的な供給を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	学校給食提供日数	日	202	201	199	200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	25,485	99,753	63,360	0
正職員人件費 (B)		千円	1,521	1,487	0	0
総事業費 (A+B)		千円	27,006	101,240	63,360	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	江別市学校給食会に対する学校給食原材料費の高騰分の補助金	江別市学校給食会への原材料費高騰対策補助金（令和6年度繰越明許費63,360千円で実施）

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市内高等学校教育助成事業

総務課 総務係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取組の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内5高等学校（江別高等学校・野幌高等学校・大麻高等学校・とわの森三愛高等学校・立命館慶祥高等学校）

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内高等学校数	校	0	5	5	5
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内5高等学校から、その良好な教育環境の整備を図るための事業について、申請を受け補助金を交付する。

【根拠要綱】江別市ふるさとえづつ教育応援補助金交付要綱

【補助率および上限額】補助対象経費の全部または一部に対し、前年1月から12月の間に、各校のために納められたふるさと納税寄附金額の30%程度を上限として交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助事業件数	件	0	5	5	5
活動指標 2	補助金額	千円	0	1,246	1,734	1,683

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内5高等学校が、ふるさと納税寄附者に広く認知されることにより、寄附による高等学校支援が拡大する。
市内5高等学校が補助事業を推進することにより、在学生の修学環境の充実が実現する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	補助申請事業件数	件	0	5	5	5
成果指標 2	補助申請金額	千円	0	1,246	1,734	1,683

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	0	1,246	1,734	1,683
正職員人件費 (B)		千円	0	2,230	2,239	2,371
総事業費 (A+B)		千円	0	3,476	3,973	4,054

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・高等学校事業への補助金交付	・補助金 1,683千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：いじめ防止対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育	戦 略	1 子どもが主役のまちをつくる
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実	具体的施策	(5) 教育相談・支援の充実
開始年度	平成16年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2 単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・児童生徒、保護者及び教育関係者

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・相談窓口を設置し、専任指導員等が相談対応する。
- ・いじめの早期発見、早期対応を図るため、小中学生に対するいじめアンケート調査を実施する。
- ・いじめなどの悩みについて、児童生徒が市教委に直接伝える「心のダイレクトメール」を実施する。
- ・いじめ根絶をテーマの一つとして、えべつ中学生サミットを開催する。
- ・情報モラル普及啓発及びいじめを許さない意識醸成のため、講演会の開催等を行う。
- ・いじめや不登校等の未然防止、早期発見のためWeb-QUを実施する。
- ・いじめ防止対策審議会を開催する。

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	いじめアンケート実施回数	回	3	3	3	3
活動指標 2	いじめ相談件数	件	12	31	20	20

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・いじめが解消される。

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	いじめの解消率	%	66	80	75	80
成果指標 2						

事業費の推移	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)	千円	0	1,167	2,405	3,231
正職員人件費 (B)	千円	0	4,460	11,196	11,856
総事業費 (A+B)	千円	0	5,627	13,601	15,087

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
7年度	・相談窓口の設置 ・心のダイレクトメールの実施 ・いじめアンケートの実施 ・えべつ中学生サミットの開催 ・情報モラルの普及啓発 ・Web-QUの実施（小学6年生、中学1年生） ・いじめ防止対策審議会の開催	・えべつ中学生サミット開催経費：107千円 ・情報モラル普及啓発経費：460千円 ・Web-QU実施経費：1,708千円 ・いじめ防止対策審議会等経費：937千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：中学校部活動サポート事業

学校教育課 教職員係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立中学校の生徒

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内公立中学校の生徒数	人	0	0	2,927	2,973
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

部活動の将来的な地域移行を含め、当市に適した部活動の在り方などを検討し、部活動指導員の導入等を進める。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	部活動指導員数	人	0	0	3	8
活動指標 2	部活動加入生徒数	人	0	0	2,109	2,074

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生徒たちが運動や文化活動に継続して親しむことができる機会を確保する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	部活動指導員活動日数	日	0	0	132	400
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	1,277	5,784
正職員人件費 (B)		千円	0	0	8,210	8,694
総事業費 (A+B)		千円	0	0	9,487	14,478

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、部活動の地域展開に関する協議会により、学校や関係団体と連携し、引き続き検討するとともに、部活動指導員の配置を拡大し、効果を検証するとともに、地域と連携した活動における実証事業を実施する。	・部活動指導員報酬等 2,326千円 ・部活動の地域移行に関する協議会開催経費等 287千円 ・地域連携実証事業 3,171千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：公民館管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公民館

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	102,600	103,282	98,451	98,295
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、社会教育の中心施設となる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	利用者数	人	139,851	159,343	174,200	174,200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	106,620	105,501	100,641	100,485
正職員人件費 (B)		千円	1,901	1,858	1,866	1,976
総事業費 (A+B)		千円	108,521	107,359	102,507	102,461

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	- 指定管理協定の締結 - 施設及び物品の修繕	指定管理料 98,295千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：図書館運営管理事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

情報図書館

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2	施設数（学校図書館地域開放事業）	施設	2	2	2	2

手段（事務事業の内容、やり方）

情報図書館の運営管理に要する経費

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	年間開館日数（全館）	日	287	293	291	292
活動指標 2	運営・維持管理経費	千円	86,973	89,180	104,440	109,787

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・利用者が図書館を安全・快適に利用できる。
- ・施設が適切に運営管理される。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	年間資料貸出利用者数	人	144,811	146,182	148,000	141,000
成果指標 2	年間資料貸出冊数	冊	627,743	613,393	610,000	580,000

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	86,973	89,180	104,440	109,787
正職員人件費 (B)		千円	32,317	31,590	24,258	28,059
総事業費 (A+B)		千円	119,290	120,770	128,698	137,846

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	情報図書館の管理運営	・会計年度任用職員	69,658千円
		・燃料費・光熱水費	11,927千円
		・清掃等施設管理委託料	23,160千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：図書館資料整備事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・市内に通勤・通学している人

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・図書館で作成した収集方針に沿って資料を収集する。
- ・月1回選書会議を行い購入する資料を選定する。
- ・相互貸借により資料を提供し補完する（道立図書館・全国公共図書館・道内外の大学図書館等）。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	資料購入冊数	冊	8,743	8,504	8,820	8,820
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

時代の趨勢や地域性を常に意識し、幅広いニーズに応えられるような資料の収集と提供を図ることにより、より多くの市民が図書資料等を利用するようになる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	市民一人当たりの貸出冊数	冊	5.3	5.2	5.1	4.8
成果指標 2	予約及びリクエスト件数	件	112,428	120,610	120,900	112,900

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	19,635	19,618	19,733	19,964
正職員人件費 (B)		千円	3,422	3,345	4,478	4,742
総事業費 (A+B)		千円	23,057	22,963	24,211	24,706

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	図書館の運営に必要な図書・雑誌・視聴覚資料等を整備する。	図書資料購入費 雑誌・新聞・その他逐次刊行物等購入費	16,200千円 3,764千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：旧町村農場管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取組の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

旧町村農場

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	8,987	3,526	20,900	21,750
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、江別市における酪農の歴史を伝える場となる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	来場者数	人	4,850	0	19,700	22,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	9,299	3,718	21,913	23,893
正職員人件費 (B)		千円	1,141	1,115	1,120	3,557
総事業費 (A+B)		千円	10,440	4,833	23,033	27,450

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	- 指定管理協定の締結 - 施設の修繕	指定管理料 21,750千円 (令和6年度指定管理料は11か月分)

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：地域体験活動事業

生涯学習課 青少年係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学生

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内小中学校児童生徒数	人	8,656	8,719	8,817	8,794
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

地域資源を活用した体験活動を子どもたちに提供する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	実施事業数	事業	3	3	3	5
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域で行う体験活動を通して子どもの可能性を引き出すとともに、学力だけでは計ることのできない感性・意欲・忍耐力などの育成を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	48	54	82	144
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	30	108	155	380
正職員人件費 (B)		千円	1,141	2,230	2,986	2,371
総事業費 (A+B)		千円	1,171	2,338	3,141	2,751

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・ ツリークライミング体験会 ・ はじめてのお泊まり会（1回から3回に拡大）	ツリークライミング体験会（実施委託料など）54千円 はじめてのお泊まり会（指導者謝礼など）326千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報図書館コンピュータ学習室事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

20歳以上の市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	20歳以上の市民	人	100,167	99,732	99,732	99,311
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・初心者パソコン教室等の開催
- ・インターネット体験のためのコンピュータ学習室開放の実施（毎月第1・第3土、日曜日）

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	各種パソコン講習会開催数	回	28	32	38	23
活動指標 2	インターネット体験の実施日数	日	44	45	43	42

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

パソコン教室等の実施により、パソコンに慣れ親しみ、パソコンを情報収集や伝達などに利用できる市民が増える。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	各種パソコン教室受講者数	人	107	112	175	130
成果指標 2	コンピュータ学習室利用者数(延べ利用者数)	人	1,714	2,150	1,828	1,727

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	774	833	978	956
正職員人件費 (B)		千円	4,182	4,088	4,105	4,347
総事業費 (A+B)		千円	4,956	4,921	5,083	5,303

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	初心者パソコン教室 12回 EPOC講習会 11回	初心者パソコン教室講師派遣委託料 660千円 EPOC講習会講師覇権委託料 60千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報図書館展示室事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

展示室で、普段目に触れる機会の少ない図書資料などの展示会を企画する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	展示会開催数	回	4	4	2	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

展示会を開催することにより、図書館の活動に関心を持ち、より多くの市民が図書館に足を運ぶようになる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	展示室入場者数	人	1,371	1,262	1,224	1,200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	43	43	54	54
正職員人件費 (B)		千円	2,281	2,230	2,239	2,371
総事業費 (A+B)		千円	2,324	2,273	2,293	2,425

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	展示会の開催 「としょかんまつり」 「しかけ絵本と大型絵本展」	展示会講師謝礼	40千円
		展示会用消耗品	14千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：蒼樹大学事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

65歳以上の市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	65歳以上の市民	人	37,952	38,246	38,246	38,506
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

高齢者の学習機会として、蒼樹大学を開催する。
5～3月に毎月1回学習会開催

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	講座開催数	回	51	51	59	59
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

高齢者一人ひとりが生きがいを見出し、地域で活かすことのできる知識や技術を獲得する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	学生数	人	83	90	127	180
成果指標 2	出席率	%	77	85	89	89

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	460	461	501	501
正職員人件費 (B)		千円	1,901	1,487	1,493	1,581
総事業費 (A+B)		千円	2,361	1,948	1,994	2,082

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	現代的課題や歴史等を学ぶ教養講座と、選択制の専攻講座（コーラス、太極拳、ふるさと学、絵手紙、体操、パーカッション）を実施	蒼樹大学開催に係る経費 501千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報図書館視聴覚ライブラリー事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・学校教育法第1条に規定する市内の学校
- ・市内の社会教育関連団体
- ・市内の社会教育活動しようとする団体及び職場
- ・市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・プロジェクターなどの視聴覚機器やDVDなどの教材を申請により貸出しする。
- ・視聴覚機器・教材を収集して整備する。
- ・所蔵教材により映画会を実施する。
- ・情報図書館ウェブサイト等により情報発信する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	ライブラリー機器の数	点	20	20	20	20
活動指標 2	ライブラリー教材の数	点	2,193	2,213	2,248	2,267

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・学校や社会教育関係団体等が視聴覚機器や教材を学習の補助教材として活用することにより、学校の教育活動の充実と市民の社会教育活動の振興が図られる。
- ・より多くの市民が、自ら関心のある事柄について学習するようになる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	利用者数	人	1,271	1,178	1,380	1,200
成果指標 2	貸出件数	回	1,229	1,129	1,330	1,200

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	370	370	370	370
正職員人件費 (B)		千円	2,281	2,230	2,239	2,371
総事業費 (A+B)		千円	2,651	2,600	2,609	2,741

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	・視聴覚機器や教材の貸出し ・教材用DVDの購入 ・映画会の実施	貸出用教材購入費	304千円
		著作権（上映権）使用料	66千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：読書普及活動事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

読書普及に向けたおはなし会、講演会などを開催する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	図書館主催おはなし会など開催回数	回	316	327	310	331
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・おはなし会を通して、幼児・児童の読書に対する興味が喚起される。
- ・おはなし会や人形劇などを行うボランティア団体の活動が活性化される。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	読書普及事業の参加人数	人	2,611	2,317	2,347	2,200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	330	333	372	376
正職員人件費 (B)		千円	2,281	2,230	2,239	2,371
総事業費 (A+B)		千円	2,611	2,563	2,611	2,747

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	本館及び分館でのおはなし会やイベントの開催	おはなし会講師謝礼 341千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子ども会育成事業

生涯学習課 青少年係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	昭和36年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市子ども会育成連絡協議会（江別地区、野幌地区、大麻・文京台地区の各育成会から構成）

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	補助金交付団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2	市内の各地区子ども会育成会の数	団体	3	3	3	3

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市子ども会育成連絡協議会が取り組む、幅広い年齢層の子どもたちへの豊かな体験活動と各地区育成会の行う活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	737	737	737	737
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市子ども会育成連絡協議会及び各地区育成会において、各種体験型事業が開催され、参加する児童・生徒数が増えることで、会の活動の活発化と子どもたちへの体験の機会が図られる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	子ども会活動への地域住民の参加延べ数	人	90	120	100	100
成果指標 2	子ども会活動の取り組み数	件	10	12	13	13

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	737	737	737	737
正職員人件費 (B)		千円	1,521	3,717	3,732	3,952
総事業費 (A+B)		千円	2,258	4,454	4,469	4,689

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・青少年キャンプ村、ドッチビー体験会、ドローン体験会、小中学生かるた大会、ひんやり王国の開催 ・こいのぼりフェスティバル、スノーフェスティバルへの協力 ・各地区育成会との連携、協力 ・ジュニアリーダー養成の支援 ・活動団体への補助金の支出 ほか	江別市子ども会育成連絡協議会への補助金 737千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：はたちのつどい開催事業

生涯学習課 青少年係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取組の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	昭和33年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・はたちのつどい実行委員会
- ・20歳年齢到達者

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	実行委員数	人	4	3	5	5
対象指標 2	20歳の年齢到達者数（令和3年度までは「新成人数」）	人	1,362	1,293	1,411	1,156

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・その年度に20歳（はたち）となる青年の有志から構成される実行委員会を組織し、実行委員会が自ら企画や準備を行い、「はたちのつどい」を開催する。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市はたちのつどい実行委員会に対して、「はたちのつどい」の開催に必要な経費について補助金を交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	180	180	200	200
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・20歳（はたち）の年齢到達に伴い、成年としてのほぼすべての権利を行使できるようになる人生の節目を祝福・激励することで、参加した20歳年齢到達者に対して、自らが自立した社会人であることへの責任と自覚を促し、より良い社会の創造への貢献の決意に加え、市民としての連帯感を高める。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	はたちのつどい出席者数（令和3年度までは「成人のつどい参加者数」）	人	762	804	737	737
成果指標 2	出席率	%	55.95	62.2	57	58

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	569	508	527	580
正職員人件費 (B)		千円	1,901	2,230	2,239	2,371
総事業費 (A+B)		千円	2,470	2,738	2,766	2,951

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	・実行委員会の組織化、企画及び当日の運営 ・案内状の発送 ・しおりの作成 ・はたちのつどいの開催	・実行委員会への補助金 ・案内状の郵送料 ・しおりの作成 ・会場使用料	200千円 124千円 41千円 190千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：科学体験教室開催事業

生涯学習課 青少年係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校 1 年生から 6 年生までの児童

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内の小学 1 年生から 6 年生までの児童数	人	5, 825	5, 821	5, 890	5, 821
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・小中学校への周知や市広報などを通して参加者を募集する。
- ・科学講師を招き、参加者に科学の不思議さや楽しさを伝えながら、考える力を養うきっかけを提供できる体験教室を開講する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	年間開催回数	回	2	4	3	6
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・科学の不思議さや楽しさを体験することで科学に興味・関心を抱くようになる。
- ・子どもたちの知的好奇心が刺激されることで、疑問に思うことへの探求心が育まれる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	年間延べ参加者数	人	60	80	67	140
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	58	207	168	232
正職員人件費 (B)		千円	1, 141	2, 230	1, 493	2, 371
総事業費 (A+B)		千円	1, 199	2, 437	1, 661	2, 603

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	・科学実験教室の開催 ・プログラミング教室の開催（新規）	・講師謝礼 58千円 ・消耗品 60千円 ・募集チラシ印刷費 26千円 ・運営委託料 60千円	

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：青少年のための市民会議補助金

生涯学習課 青少年係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	昭和55年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市青少年のための市民会議

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	補助交付団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市青少年のための市民会議が取り組む、青少年の健全育成・非行防止活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、活動費の一部を補助する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	120	120	120	120
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市青少年のための市民会議が行う活動が充実し、青少年を取り巻く環境が向上していく。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	開催事業への参加者数	件	888	745	1,011	1,011
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	120	120	120	120
正職員人件費 (B)		千円	1,901	3,717	3,359	3,952
総事業費 (A+B)		千円	2,021	3,837	3,479	4,072

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・ 青少年健全育成標語の募集と表彰 ・ 少年の主張石狩地区大会江別代表者の選考 ・ 青少年善行賞及び善行賞特別賞の表彰 ・ からくりの道～オン・ザ・デスク～体験会の開催 ・ 課外活動E X P Oの開催 ・ 各種会議及び総会等の開催	青少年のための市民会議への補助金 120千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：青少年キャンプ村事業

生涯学習課 青少年係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	昭和43年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小学校4年生から中学校3年生の児童生徒

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標1	市内の小学校4年生から中学校3年生の児童生徒数	人	5,783	5,859	5,896	5,934
対象指標2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・家庭や学校などの日常の生活から離れ、自然豊かな環境において、青少年キャンプ村（自然体験活動）を1泊2日の行程により5回開催する。

・大学生、専門学生及び高校生から構成されるボランティアサークルが生活指導員を担い、参加者は子どもたちだけの環境の中で野外キャンプを体験する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標1	キャンプ村開催日数	日	5	5	5	5
活動指標2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

野外生活の楽しさを感じるとともに、異年齢との交流及び集団生活を通して、規律ある生活態度・生活技術を学び、子どもたちの主体性や協調性、社会性が高まる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標1	参加グループ数	グループ	64	57	73	73
成果指標2	青少年キャンプ村参加人数	人	165	181	203	203

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費(A)		千円	688	783	628	488
正職員人件費(B)		千円	1,901	2,230	2,239	2,371
総事業費(A+B)		千円	2,589	3,013	2,867	2,859

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	小中学生の夏休み中に、大学生、専門学生及び高校生から構成されるボランティア団体が生活指導を担い、小中学生を対象とした野外キャンプ事業（自然体験活動）を開催する。	・生活指導員謝礼	336千円
		・生活指導員ほか食材	82千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：青少年ふれあい交流促進事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取組の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童・生徒の健全育成と幅広い世代間の交流等の社会教育活動を実施する地域の団体。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	補助対象事業数	団体	11	11	15	15
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

交流事業や芸術文化事業等に対し、「江別市教育振興事業補助金規則」に基づき、事業費の一部を支援する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	795	835	988	1,200
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各団体等が独立して活動を行うことにより、社会教育の充実が促進される。また、団体が地域と協働で活動することにより、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	4,715	5,945	5,579	5,579
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	795	835	1,200	1,200
正職員人件費 (B)		千円	760	743	746	790
総事業費 (A+B)		千円	1,555	1,578	1,946	1,990

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	社会教育の振興及び地域活動団体の育成・促進事業を実施する市内の団体などに対して、事業費の一部を支援する。	青少年ふれあい交流促進事業補助金 1,200千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

高校生以上の市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	高校生以上の市民	人	104,684	104,234	104,234	103,693
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市内4大学との共催で行う連携講座「ふるさと江別塾」の開催。
- ・市内4大学や社会教育関係団体が主催する市民向け講座、市主催の講座を「えべつ市民カレッジ」として位置付け、総合的に学ぶ機会を提供する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	連携団体数	団体	6	7	7	7
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

知的資源を有する市内4大学等と連携し、様々な市民の学習要求に応えることにより、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える環境をつくるとともに、まちづくりの身近な地域課題に対する気づきの機会も提供されている。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	えべつ市民カレッジ講座数	講座	103	117	141	141
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	134	164	189	191
正職員人件費 (B)		千円	2,661	2,602	2,612	2,766
総事業費 (A+B)		千円	2,795	2,766	2,801	2,957

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・市内4大学と連携を図りながら、各大学を会場とした「ふるさと江別塾」を開催する。 ・ふるさと江別塾に加え、各大学等で開催している市民公開講座、市主催講座、社会教育関係団体主催講座と連携し、それらの講座をえべつ市民カレッジとして位置付け、総合的に市民へ情報提供する。 ・受講履歴を記録できるカレッジ手帳により、受講単位に応じ称号を授与する。	・ふるさと江別塾開催に係る経費 147千円 ・えべつ市民カレッジ受講シール、称号授与に係る経費 44千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：コミュニティセンター管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

コミュニティセンター

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	18,269	17,994	17,233	17,062
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、市民相互のふれあいのなかで地域経済活動の促進を図り、地域づくりの拠点となる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	利用者数	人	100,826	107,729	94,700	94,700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	18,269	17,994	17,233	17,062
正職員人件費 (B)		千円	1,141	1,115	1,120	1,186
総事業費 (A+B)		千円	19,410	19,109	18,353	18,248

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・指定管理協定の締結	・指定管理料 17,062千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：社会教育団体支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市女性団体協議会、江別市聚楽学園、江別市生涯学習推進協議会

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	補助団体数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市女性団体協議会」、「江別市聚楽学園」、「江別市生涯学習推進協議会」に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	2,170	2,170	2,220	2,195
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

それぞれの団体が独立して活動を行うことで、社会教育活動が活性化する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	2,455	2,499	2,547	2,547
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	2,170	2,170	2,220	2,195
正職員人件費 (B)		千円	4,182	3,717	3,732	3,952
総事業費 (A+B)		千円	6,352	5,887	5,952	6,147

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・「江別市女性団体協議会」「江別市生涯学習推進協議会」「江別市聚楽学園」への補助金交付	・江別市女性団体協議会への補助金 425千円 ・江別市生涯学習推進協議会への補助金 1,000千円 ・江別市聚楽学園への補助金 770千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：家庭教育支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・子育て中の保護者、一般市民
- ・江別市PTA連合会

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小中学校の家庭数	件	7,112	7,150	7,150	7,139
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・家庭教育に係る研修会等の実施
- ・江別市PTA連合会に対し、「江別市教育振興事業補助金規則」に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	事業開催数	回	6	4	5	5
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

子育て中の保護者の悩みや不安の軽減に繋がる支援を行う

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	173	229	321	321
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	364	508	508	508
正職員人件費 (B)		千円	1,521	1,115	1,120	1,186
総事業費 (A+B)		千円	1,885	1,623	1,628	1,694

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	・江別市PTA連合会への補助金交付 ・江別市家庭問題研究会の活動支援	・江別市PTA連合会への補助金 408千円 ・家庭問題研究会への研修委託料 100千円	

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民交流施設関連経費（情報図書館）

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び市内に通勤・通学している人

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市民交流施設で、図書館資料の貸出・返却業務などを行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	業務日数	日	359	360	359	359
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

利用者の利便性を高め、図書館利用数を増加させる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	年間資料貸出利用者数	人	6,214	6,812	6,900	6,900
成果指標 2	年間資料貸出冊数	冊	13,516	15,056	15,700	15,700

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	2,359	2,427	2,608	2,940
正職員人件費 (B)		千円	760	743	746	790
総事業費 (A+B)		千円	3,119	3,170	3,354	3,730

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	市民交流施設における予約図書等の貸出・返却業務の実施に要する経費	図書館業務委託料 2,940千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別の魅力「食」と「自然」を満喫できる体験型学習事業

生涯学習課 青少年係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取組の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市に居住する小学4年生から中学3年生の児童・生徒

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	小学4年生から中学3年生までの児童・生徒数	人	5,783	5,859	5,896	5,934
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

地域の住民団体やボランティア団体と協働して、江別市の魅力である「食」や「自然」を通じた体験型学習の機会を提供する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	体験型学習プログラム数	件	2	2	2	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

豊かな自然環境の中での「自然体験学習」や「地場産品を活用した食育」を通じて、江別市の持つ様々な魅力が子どもたちに理解される。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	申込人数	人	23	56	93	93
成果指標 2	参加者数	人	23	55	55	56

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	205	242	260	260
正職員人件費 (B)		千円	1,901	2,230	1,866	2,371
総事業費 (A+B)		千円	2,106	2,472	2,126	2,631

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	・ 自然体験学習 ・ 地場産品を活用した食育 ・ 他校他学年との異年齢交流	・ 指導者謝礼 108千円 ・ 食材費 61千円 ・ 木炭等資材費 59千円	

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：本でつながるまちづくり事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	令和 7年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	0	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・協力企業等から広告掲載料を受領する。
- ・個人等から新刊雑誌の定期寄贈を受ける。
- ・新しい雑誌を提供する。
- ・館内や図書館ホームページに協力企業等の広告を掲載する。
- ・協力企業や庁内他部署等と連携し、地域と人をつなげる展示を開催する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	展示開催数	回	0	0	0	12
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・資料の充実により利用者サービスの向上が図られる。
- ・利用者が情報図書館を利用することで地域の取組への意識やまちづくりへの関心が高まる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	協力企業等の登録数	事業所等	0	0	0	15
成果指標 2	提供雑誌数	冊	0	0	0	45

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	80
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	3,952
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	4,032

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	・協力企業等へ事業の周知を行う。 ・館内や図書館ホームページへ協力企業等の広告を掲出する。 ・協力企業や庁内他部署等と連携し、地域と人をつなげる展示を開催する。	マガジнкаバー購入費用等	80千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	地域活動の担い手不足や自治会加入率の低下、併せて図書等の値段が高騰し資料の受入冊数の減少に伴う利用者サービスの低下が懸念されることから、協力企業等との連携により情報図書館が地域の情報発信の中心となり、自主財源を確保しつつ、市民交流を促進し、地域コミュニティの更なる活性化を図る。

事業名：ガラス工芸館管理運営経費

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・ガラス工芸館
- ・ガラス工芸家

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	敷地面積	m ²	1,024.39	1,024.39	1,024.39	1,024.39
対象指標 2	延床面積	m ²	242.72	242.72	242.72	242.72

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・施設の管理運営
- ・ガラス工芸家の創作活動公開

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	開館日数	日	61	59	59	59
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

創作活動及び作品鑑賞の場として公開することにより、工芸の分野における文化の振興に資する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	来館者数	人	1,131	1,072	898	898
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	1,926	2,117	2,210	2,310
正職員人件費 (B)		千円	760	743	746	790
総事業費 (A+B)		千円	2,686	2,860	2,956	3,100

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・ガラス工芸館の管理運営 ・ガラス製作体験事業の開催	管理運営費 2,310千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：セラミックアートセンター企画展開催事業 セラミックアートセンター

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市内の高等教育機関等との共催展開催を通して、市民へ創作発表機会を提供する。
- ・道内外の美術館との連携展や館蔵品展を開催し、市民へ鑑賞機会を提供する。
- ・市内関係機関や道内外の美術館・博物館等へ催事の効果的な告知周知を行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	企画展開催数	回	4	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民協働による展示会の開催と、その観覧を通して、市民が文化活動への参加意欲を高めている。
- ・良質な芸術作品を紹介することで、市民が陶芸文化への理解を深めるとともに、地域文化の特色を再認識している。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	企画展入場者数	人	1,967	1,259	2,000	2,900
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	219	44	7,709	449
正職員人件費 (B)		千円	5,323	3,345	2,986	5,138
総事業費 (A+B)		千円	5,542	3,389	10,695	5,587

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	・「手島圭三郎絵本原画展」他計3回の企画展を開催 ・令和7年度企画展の開催協議	・「手島圭三郎絵本原画展」の開催経費 61千円 ・令和7年度企画展開催協議旅費 57千円	

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：セラミックアートセンター管理運営経費 セラミックアートセンター

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・セラミックアートセンター
- ・市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・設備不具合を未然に防ぎ、施設機能を維持するための適切な施設管理を行う。
- ・小森忍、道内作家作品及びれんが資料を調査収集し、展示する。
- ・展示室と工房各設備を適切に管理運営し、観覧、利用に供する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	開館日数	日	300	301	304	304
活動指標 2	運営・維持管理経費	千円	41,747	37,908	42,411	43,085

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・施設設備を適切に管理運営することで、安心安全かつ快適に利用されている。
- ・市民が観覧や利用を通して、ふるさと・江別が「やきもののまち」であることへの理解を深めている。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	利用者数	人	18,528	17,311	18,000	18,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	41,747	37,908	42,411	43,085
正職員人件費 (B)		千円	8,364	4,460	5,225	8,694
総事業費 (A+B)		千円	50,111	42,368	47,636	51,779

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	・セラミックアートセンターの維持管理 ・小森忍、道内作家作品及びれんが資料の収集・展示	・暖房用重油代等燃料費 4,770千円 ・電気代等光熱水費 6,445千円 ・維持管理関係委託料 27,564千円	

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子どもの文化活動育成事業（土曜広場）

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	推進委員数	人	18	20	20	14
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,030	1,043	1,150	1,150
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

推進委員会が、地域資源となる地域に在住する伝統的文化活動等の指導者の方々の協力を得て、土曜広場を提供することで、子どもたちの日本文化に対する理解を深め、文化芸術活動を拡充する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	開催会場数	会場	17	17	17	8
成果指標 2	参加者数	人	365	403	386	300

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	1,030	1,043	1,150	1,150
正職員人件費 (B)		千円	1,901	1,858	1,866	1,976
総事業費 (A+B)		千円	2,931	2,901	3,016	3,126

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・住区会館等の地域の施設を会場として、日本の伝統文化活動等を体験・学習する機会を提供する推進委員会に対し、補助金を交付する。 【土曜広場概要】 ・会場：住区会館等の地域の施設8か所（令和6年度までは小学校を会場としていた。） ・実施日：6月～10月の第四土曜日 ・活動種目：将棋、茶道、日本舞踊など15種類程度	補助金 1,150千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	土曜日の過ごし方の多様化による参加児童の減少、講師や推進委員の高齢化等による運営の担い手不足及び学校現場の働き方改革を背景として、令和7年度から開催会場を小学校単位から住区会館等の地域の施設8か所程度への集約を図る。 あわせて、従来は自校で開催される講座のみ選択可能だったが、選択肢の幅を広げられるよう、校区に関わらず全会場の中から興味に応じて講座を選択できるよう変更する。

事業名：市民文化ホール管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民文化ホール

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	56,358	57,479	54,273	54,173
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、市民の芸術文化活動の発展を図り、心豊かなまちづくりに寄与する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	利用者数	人	40,252	48,474	47,900	47,900
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	56,378	57,495	54,363	54,263
正職員人件費 (B)		千円	1,141	1,115	1,120	1,186
総事業費 (A+B)		千円	57,519	58,610	55,483	55,449

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	- 指定管理協定の締結 - 施設の修繕	指定管理料 54,173千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別市文化協会補助金（文化協会事業・市民文化祭開催支援事業）

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取組の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

NP0法人江別市文化協会

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	江別市文化協会加盟会員数	人	1,565	1,552	1,571	1,501
対象指標 2	加盟団体数	団体	98	94	95	91

手段（事務事業の内容、やり方）

市内の文化団体相互の連絡協調とその活動の促進を図るとともに、芸術文化・生活文化を通じて情操豊かな市民文化の振興と健康で文化的なまちづくりに寄与するための事業を行うNP0法人江別市文化協会に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	2,750	2,750	2,750	2,750
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市文化協会会員による自主的・主体的な芸術文化活動が活発に行われ、広く市民にその活動が浸透し、新たな活動領域の出現や団体等の形成、会員の増加を促進する。
また、市民文化祭を開催することで、発表や鑑賞等を契機に芸術文化活動への興味関心が高まり、市民主体のより積極的な活動が行われる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	主催・支援事業数	件	13	17	11	11
成果指標 2	市民文化祭参加者数（出演者＋来場者）	人	10,269	9,243	9,200	9,200

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	2,750	2,750	2,750	2,750
正職員人件費 (B)		千円	2,281	2,230	2,239	2,371
総事業費 (A+B)		千円	5,031	4,980	4,989	5,121

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・ NP0法人江別市文化協会に対し、事業費を補助 【対象事業】 ①会員交流事業 ②会員拡大・研修・活動促進事業 ③顕彰事業 ④文化活動発信事業 ⑤えべつ文化未来事業 ⑥文化振興調査研究事業 ・ 市民文化祭の開催事業経費から事業収入を控除した額を補助 【部門別事業】 ①舞台部門（11事業） ②展示部門（7事業） ③文芸部門（3事業） ④生活文化部門（5事業）	・ 補助金（文化協会事業・市民文化祭開催支援事業） 2,750千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：文化振興奨励事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人・団体に対し、「江別市芸術文化大会・コンクール出場奨励金支給要綱」に基づき全国大会等出場奨励金を支給する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	奨励金支給個人数	人	1	0	3	3
活動指標 2	奨励金支給団体数	団体	1	1	2	2

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人や団体を奨励することにより、さらなる意欲の向上が図られ、地域の文化・芸術を担う人材が育成される。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	入賞個人数	人	0	0	2	3
成果指標 2	入賞団体数	団体	0	0	2	2

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	60	50	230	230
正職員人件費 (B)		千円	380	372	373	395
総事業費 (A+B)		千円	440	422	603	625

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人・団体に奨励金を支給する。 ・個人：10,000円以内。江別市内に居住していること。 ・団体：100,000円以内（10人未満の団体は、出場者数に10,000円を乗じた額以内の額）。江別市内に主たる活動場所を有し、かつ、その構成員の8割以上が江別市内在住の者で組織されていること。 ※いずれも就学以前の者を除く。	全国大会等出場奨励金 230千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民芸術祭開催支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

芸術文化の振興を目的とする市民組織

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	構成関係団体数	団体	3	2	3	2
対象指標 2	構成委員数	人	45	18	27	13

手段（事務事業の内容、やり方）

幅広い市民参加及び専門家による創作を発表する事業を実施する各実行委員会に対し、「江別市芸術文化奨励補助金交付要綱」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,500	1,000	1,400	1,050
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動を活発に行い、江別市独自の創造型芸術文化活動を創出する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	市民芸術祭の参加者数（参加者＋鑑賞者）	人	12,994	12,571	12,300	630
成果指標 2	開催事業数	回	4	3	4	3

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	1,500	1,000	1,400	1,050
正職員人件費 (B)		千円	2,661	2,602	2,612	2,766
総事業費 (A+B)		千円	4,161	3,602	4,012	3,816

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	各実行委員会に対し、補助金を交付する。 ・音楽部門（まちかどコンサート：年2回） ・展示部門（市民美術展受賞作品展：5年に一度、市民美術展の中止があり（R3）、次回はR10予定。） ・舞台部門（市民ミュージカル公演：3年に1回。コロナ等による活動休止があり、次回はR8以降の予定。） ※ まちなかアート月間は、R6に支援を終了し、若手芸術作家をサポートする通年プロジェクトとして自走化	・補助金（まちかどコンサート実行委員会）550千円 ・補助金（市民ミュージカル実行委員会）500千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別市野幌太々神楽伝承会補助金

郷土資料館 文化財係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市野幌太々神楽伝承会

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	構成員数	人	22	23	21	24
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市指定文化財「野幌太々神楽」の保存伝承に取り組む市民団体の活動を支援し、永く無形民俗文化財の保存に努める。

- 「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	300	300	300	400
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

指定文化財「野幌太々神楽」を保護・保存するとともに、保存伝承活動を全市的活動に広げる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	36	25	28	28
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	300	300	300	400
正職員人件費 (B)		千円	380	372	373	395
総事業費 (A+B)		千円	680	672	673	795

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	「江別市野幌太々神楽伝承会」が行う保存伝承活動及び30周年記念事業に対し、補助金を交付する。	江別市野幌太々神楽伝承会への補助金 400千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：野幌太々神楽保存会補助金

郷土資料館 文化財係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市指定文化財保持団体「野幌太々神楽保存会」

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	構成員数	人	127	127	127	123
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市指定文化財保持団体の保存伝承活動を支援し、永く無形民俗文化財の保存に努める。
・「文化財保護条例」、「文化財保護条例施行規則」に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	150	150	150	150
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域住民によって、指定文化財「野幌太々神楽」が適切に保護、保存されている。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	23	26	23	23
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	150	150	150	150
正職員人件費 (B)		千円	380	372	373	395
総事業費 (A+B)		千円	530	522	523	545

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	「野幌太々神楽保存会」が行う保存伝承活動に対し、補助金を交付する。	野幌太々神楽保存会への補助金 150千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：陶芸文化普及振興事業

セラミックアートセンター

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・工房利用者や教室受講者の成果発表機会を提供する。
- ・常設展示によるやきもの文化の学習機会を提供する。
- ・陶芸体験、初級・中級等の教室や講座を開催する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	展示事業数	回	1	1	1	1
活動指標 2	教室・講座等事業数	事業	29	29	30	31

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・工房利用者等の成果発表展の出展、観覧を通して、出展者は創作意欲がさらに高まることで施設を継続的に利用し、観覧者はやきものへ親しみを感じ、新たな施設利用者となる。
- ・常設展示の観覧を通して、やきもの文化への理解が深まっている。
- ・陶芸教室等を受講することで、陶芸文化への興味関心、学習意欲が高まっている。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	展示事業入場者数	人	2,319	2,920	3,000	2,700
成果指標 2	教室・講座等事業参加者数	人	5,216	5,923	4,000	4,100

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	6,387	6,554	7,950	8,988
正職員人件費 (B)		千円	5,323	2,973	2,986	5,138
総事業費 (A+B)		千円	11,710	9,527	10,936	14,126

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	・「工房利用者作品展」の実施 ・陶芸教室、陶芸体験、各種講座等の実施	・陶芸指導員報酬 5,895千円 ・陶芸教室等事業費 793千円	

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：芸術鑑賞招へい事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

芸術鑑賞機会の充実を目的とする市民団体

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	補助金交付市民団体数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

芸術文化鑑賞機会の充実を目的とする市内の芸術文化活動団体に対し、「江別市芸術文化奨励補助金交付要綱」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,400	1,400	1,300	1,550
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民の主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動が活発に行われる。
- ・質の高い芸術鑑賞機会が増える。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	鑑賞者数	人	1,748	3,703	2,050	1,700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	1,400	1,400	1,300	1,550
正職員人件費 (B)		千円	760	743	746	790
総事業費 (A+B)		千円	2,160	2,143	2,046	2,340

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	・プロの団体・個人を招へいし、質の高い舞台芸術公演を実施する。	・音楽関係公演	1,450千円
		・演劇関係公演	100千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：埋蔵文化財発掘調査事業

郷土資料館 文化財係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

埋蔵文化財包蔵地（遺跡）

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	埋蔵文化財包蔵地	ヵ所	142	142	142	142
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

1. 埋蔵文化財包蔵地のデータ管理及び確認調査等の実施と、資料の整備・公開により、市民ほか関係者に周知する。
2. 埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い発掘調査等の措置により、記録保存を行う。
3. 各種土木工事等に伴う発掘調査費の積算や、国・道費との調整を図り、事業を実施する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	所在確認調査・試掘調査実施件数	件	1	2	3	3
活動指標 2	発掘調査実施件数	件	3	0	0	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

埋蔵文化財が適切に保護、保存されている。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	埋蔵文化財保護件数	件	8	4	3	3
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	41,153	12,263	511	501
正職員人件費 (B)		千円	15,208	11,150	7,464	7,904
総事業費 (A+B)		千円	56,361	23,413	7,975	8,405

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	埋蔵文化財包蔵地に関する資料の管理・公開や、確認調査等を実施する。	確認調査等に要する費用 調査用車両燃料費 9千円 掘削作業委託料 432千円 調査用車両賃借料 60千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：郷土資料館企画展開催事業

郷土資料館 文化財係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

1. 郷土資料館収蔵資料を中心とした企画展を開催する。
2. 未公開資料を積極的に活用し、市民に多くの郷土資料を紹介する。
3. 展示資料の追調査等を実施することによって、資料データの充実を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	企画展開催数	回	1	1	2	2
活動指標 2	展示資料点数	点	114	115	138	150

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

郷土資料館収蔵資料の公開を通して、市民の郷土の歴史・文化に対する関心度が高まり、ふるさとへの愛着が深まっている。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	企画展入場者数	人	1,424	758	1,000	1,100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	20	15	90	121
正職員人件費 (B)		千円	3,042	2,973	2,986	5,533
総事業費 (A+B)		千円	3,062	2,988	3,076	5,654

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	市民に江別の歴史や文化に対する理解と関心を高めてもらうため、寄贈資料などをテーマに沿って公開する企画展を開催する。	企画展開催に要する経費	
		消耗品費	48千円
		資料搬送用車両燃料費	4千円
		印刷製本費	21千円
		資料搬送用車両賃借料	48千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ふるさと江別塾～「江別を学ぶ」開催事業

郷土資料館 業務係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取組の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市民が郷土史を学ぶための各種講座を開催するとともに、見学受け入れや出前授業等を通じて小中学校の学習を支援する。

- ・子ども学芸員カレッジ（小学生）
- ・縄文土器を作ろう！（小学生）
- ・総合的な学習支援事業（小中学生）
- ・再発見・江別探訪（一般）
- ・ふるさと歴史講座（一般）
- ・歴史を学ぼう（小中学生・一般）

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	事業開催回数	回	48	49	68	55
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

講座の受講等を通して、市民の郷土の歴史に対する理解が深まり、ふるさと愛の醸成が図られている。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	1,868	2,332	2,900	2,400
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	166	106	144	141
正職員人件費 (B)		千円	4,182	4,088	4,105	4,347
総事業費 (A+B)		千円	4,348	4,194	4,249	4,488

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	○小学生対象 ・子ども学芸員カレッジ 学芸員の仕事体験などを通じて、江別の歴史を学ぶ連続講座 ・縄文土器を作ろう！ 大昔に使われていた「縄文土器」を当時と同じ方法で製作する体験型講座 ○一般対象 ・再発見・江別探訪 市内史跡の見学ツアー ・ふるさと歴史講座 江別及び北海道の歴史・文化をテーマに、各分野の専門家が講義する講演会	各種講座開催経費	・子ども学芸員カレッジ 38千円 ・縄文土器を作ろう！ 36千円 ・再発見・江別探訪 27千円 ・ふるさと歴史講座 25千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：郷土資料館管理運営経費

郷土資料館 業務係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

郷土資料館
屯田資料館
野幌屯田兵屋

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

郷土資料館の維持管理・運営を適切に行う。
・常設展・企画展など展示事業の適正な管理運営
・講座等教育普及事業の適正な管理運営
・郷土資料の収集・保存・調査研究
屯田資料館及び野幌屯田兵屋の維持管理・運営を適切に行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	郷土資料館開館日数	日	300	301	304	304
活動指標 2	屯田資料館開館日数	日	66	64	68	63

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設・設備の維持管理・運営が適切に行われることで、利用者の歴史への関心と理解が深まっている。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	郷土資料館利用者数	人	4,339	4,201	4,200	4,300
成果指標 2	屯田資料館及び野幌屯田兵屋利用者数	人	1,014	981	1,000	1,000

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	16,555	14,552	16,971	18,481
正職員人件費 (B)		千円	7,224	7,061	6,718	7,114
総事業費 (A+B)		千円	23,779	21,613	23,689	25,595

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	郷土資料館・屯田資料館・野幌屯田兵屋の維持管理及び展示資料の公開	施設の維持管理に要する経費 ・管理運営及び解説担当職員報酬 4,908千円 ・燃料費（重油等） 986千円 ・光熱水費（電気・ガス・水道） 2,106千円 ・保守管理委託経費 7,499千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：北海道林木育種場旧庁舎保存利活用推進事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取組の 基本方針	(2) ふるさと愛の醸成と地域文化の継承			具体的施策					
開始年度	令和 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

北海道林木育種場旧庁舎の歴史的価値の伝承と地域の交流促進のため、セミナー・ワークショップを行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	実施事業数	件	3	2	2	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民が歴史的・文化的価値に触れる機会が増えることにより、建物への理解を深め、文化財保護の意識を高める。
- ・市内大学関係者等による利用を推進し、交流の場としての活用を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	113	36	45	40
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	2,885	166	235	153
正職員人件費 (B)		千円	1,521	1,115	1,120	1,186
総事業費 (A+B)		千円	4,406	1,281	1,355	1,339

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・市民を対象とした建物歴史セミナーを開催 ・市内大学関係者を対象とした市内大学活用セミナーを開催 ・施設PR用パンフレット作成 ・施設老朽化に対応するための修繕等	・セミナー開催経費 109千円 ・パンフレット作成経費 22千円 ・施設修繕費 22千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：学校プール開放事業

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	開放校区の児童・生徒（中学生）数	人	8,719	8,758	8,305	8,275
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学校プールを夏季休業期間中、開放する。外部委託による、プールの水質管理や危険行為の監視など、安全性を確保した運営を行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	開放校数	校	15	15	15	15
活動指標 2	開放日数	日	9	8	6	6

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校プールを夏季休業期間中開放し、水泳に親しむ機会を提供することで、小中学生の体力・健康増進を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	利用者数	人	6,746	8,190	5,831	7,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	2,752	3,274	11,476	11,854
正職員人件費 (B)		千円	1,521	1,858	1,866	1,976
総事業費 (A+B)		千円	4,273	5,132	13,342	13,830

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	夏季休業期間中に小学校15校のプールを、開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者に開放する。	プール監視等業務委託 11,809千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：体育施設開放事業（学校体育館土曜開放）

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

開放校及びその周辺地区の児童、生徒及びその保護者

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	実施校区の児童・生徒数	人	5,821	5,842	5,778	5,710
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学校週5日制の対応として、毎週土曜日午前8時30分から正午まで市内10小学校の体育館を開放し、利用者の自由なスポーツ活動（バドミントン・バレーボール・バスケットボール・ドッジボール・その他軽スポーツ等）に供するほか、グラウンドを自由開放する。出入口の錠の開閉や安全管理・器具使用上等の指導・説明等のため1校に2名の指導員を配置している。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	開放校数	校	10	10	10	10
活動指標 2	開放日数	日	188	186	199	190

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・学校週5日制により生じた休日を子供たちが家に閉じこもることなく、有意義に過ごし健やかに成長する。
- ・スポーツ少年団等のスポーツ組織へ未加入の子供たちに対し、スポーツに親しむ機会を提供する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	利用者数	人	2,681	3,025	3,500	3,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	1,145	1,058	1,308	1,440
正職員人件費 (B)		千円	1,521	1,487	1,493	1,581
総事業費 (A+B)		千円	2,666	2,545	2,801	3,021

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	土曜日に小学校10校の体育館及びグラウンド（夏季）を、開放校及びその周辺の児童・生徒及びその保護者に開放する。	指導員謝礼 1,320千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：屋外体育施設管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

屋外スケートリンク

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・屋外スケートリンクのリンク造成、運営管理を行う。
- ・業務委託で行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	屋外スケートリンク開場日数	日	27	24	25	26
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、市民がスポーツに親しむ場を提供する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	屋外スケートリンク利用者	人	3,202	3,679	4,000	4,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	4,775	4,871	5,513	5,654
正職員人件費 (B)		千円	760	743	746	790
総事業費 (A+B)		千円	5,535	5,614	6,259	6,444

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	スケートリンク造成、管理運営を業務委託により実施する。	委託料 5,654千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ少年団補助金

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市スポーツ少年団

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	登録団数	団	38	36	36	36
対象指標 2	登録団員数	人	909	833	833	863

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・スポーツ少年団が行う単位少年団育成強化事業、交流事業、リーダー養成事業等に対して補助を行う。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市体育協会を通じて江別市スポーツ少年団に対し定額を補助する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,815	1,895	1,897	2,054
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・スポーツを行う青少年を増やす。
- ・青少年スポーツを指導する有資格者を増やす。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	小中学生に対するスポーツ少年団員の割合	%	10.4	9.5	9.4	9.8
成果指標 2	認定指導員の数	人	125	123	123	103

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	1,815	1,895	1,897	2,054
正職員人件費 (B)		千円	760	743	746	790
総事業費 (A+B)		千円	2,575	2,638	2,643	2,844

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	江別市スポーツ少年団に対し補助金を支出する。	補助金 2,054千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：あけぼのパークゴルフ場管理運営事業 スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

あけぼのパークゴルフ場

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	12,228	14,869	14,874	14,874
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理を適切に行い、パークゴルフに親しむ場を提供する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	利用者数	人	39,300	38,889	40,233	42,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	12,228	14,869	14,874	14,874
正職員人件費 (B)		千円	760	1,487	1,493	1,581
総事業費 (A+B)		千円	12,988	16,356	16,367	16,455

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料 14,874千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別市スポーツ協会補助金

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市スポーツ協会

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	加盟団体数	団体	25	24	24	23
対象指標 2	加盟人数	人	6,727	6,426	6,500	6,500

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・スポーツ協会が行う単位協会活動費補助事業、ジュニアスポーツ育成事業、全道大会開催助成事業等に対し補助を行う。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市スポーツ協会に対し定額を補助する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,363	1,462	1,296	1,498
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・競技力の向上
- ・競技スポーツをする人の増加
- ・競技スポーツを指導する人の増加と資質向上

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	主催・共催事業実施数	事業	5	5	5	5
成果指標 2	有資格指導者数	人	342	302	350	350

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	1,363	1,462	1,296	1,498
正職員人件費 (B)		千円	760	743	746	790
総事業費 (A+B)		千円	2,123	2,205	2,042	2,288

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	江別市スポーツ協会に対し補助金を支出する。	補助金 1,498千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：全国大会等開催補助事業

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市で開催される全国大会の運営経費の一部を補助する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	全国大会件数	件	0	0	2	0
活動指標 2	補助金額	千円	0	0	300	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民が全国レベルの高度なプレーに触れることができる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	参加者数	人	0	0	590	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	300	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	746	0
総事業費 (A+B)		千円	0	0	1,046	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	令和7年度は、市内で開催予定の大会がないため、補助金の支出はなし。	なし

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：森林キャンプ場管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

森林キャンプ場

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	7,782	7,855	7,652	7,652
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、自然と触れ合う場を提供する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	利用者数	人	9,955	5,703	7,007	8,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	7,782	7,855	7,652	7,652
正職員人件費 (B)		千円	760	743	746	790
総事業費 (A+B)		千円	8,542	8,598	8,398	8,442

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料 7,652千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ普及奨励事業（スポーツ大会出場奨励金交付）

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民数	人	164	303	289	333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

予選を経て、全道規模以上の大会に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）の参加負担の軽減を図るとともに、市のスポーツ支援政策として奨励金を交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,140	2,035	2,117	2,234
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

スポーツ大会に出場する市民の経費負担を軽減し、スポーツの振興を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	全道大会出場者数	人	70	145	259	168
成果指標 2	全国大会出場者数	人	94	158	129	165

事業費の推移	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)	千円	1,140	2,035	2,131	2,234
正職員人件費 (B)	千円	1,521	1,487	1,493	1,581
総事業費 (A+B)	千円	2,661	3,522	3,624	3,815

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
7年度	予選を経て、全道大会以上に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）に奨励金を交付する。 全道大会出場：小学生・中学生のみ 3,000円/人 全国大会出場：道外開催 10,000円/人、 道内開催 5,000円/人 国際大会出場：10,000～30,000円/人（大会内容、開催地によって変動）	奨励金 2,234千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ普及奨励事業（青少年スポーツ賞顕彰）

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ	戦 略	
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実	具体的施策	
開始年度	—	終了年度	—
	区分1	継続	区分2 単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

スポーツ競技団体登録児童生徒

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	スポーツ競技団体登録児童生徒数	人	909	833	833	863
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。
 ・スポーツ賞：全国大会で、優秀な成績記録を収めた者（高校生以下）
 ・スポーツ奨励賞：全道大会で1位の成績記録を収めた者（高校生以下）
 ・教育委員会賞：全道大会で2位又は3位の成績記録を収めた者（中学生以下）

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	審査会開催数	回	3	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各種スポーツ競技において優秀な成績を収めた選手を表彰することによって、競技スポーツの活性化を図る。

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	受賞者数	人	46	65	54	70
成果指標 2						

	事業費の推移	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
	事業費 (A)	千円	1,283	2,414	1,924	2,309
	正職員人件費 (B)	千円	1,521	1,487	1,493	1,581
	総事業費 (A+B)	千円	2,804	3,901	3,417	3,890

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
7年度	全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。	贈呈品 2,259千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：社会人体育団体学校開放事業

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

スポーツ・レクリエーション活動を行うスポーツクラブ（学校部活・営利団体を除く）

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	クラブ登録数	団体	131	133	132	147
対象指標 2	クラブ登録人数	人	2,796	3,005	2,800	3,331

手段（事務事業の内容、やり方）

10名以上で、かつその8割以上が市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内25小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	開放校数	校	25	25	25	25
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民のスポーツクラブが定期的にスポーツ・レクリエーション活動を行うことが可能な場を提供することによって、競技スポーツの振興と健康・体力づくりとしてのスポーツに親しむ機会が増加する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	学校開放利用人数	人	116,220	130,915	132,000	132,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	182	214	263	263
正職員人件費 (B)		千円	1,521	1,487	1,493	1,581
総事業費 (A+B)		千円	1,703	1,701	1,756	1,844

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	10名以上で、かつその8割以上が市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内25小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。	開放用スポーツ用具などの消耗品 175千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：地域スポーツ活動活性化促進事業

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ	戦 略	
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実	具体的施策	
開始年度	—	終了年度	—
	区分1	継続	区分2 単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

学校、自治会等

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1 学校、自治会等の数	団体	188	189	190	187
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

地域や学校、団体などにメニューを提示し、選ばれた軽スポーツメニューの指導要求に応じ、スポーツ推進委員が指導に出かける。活動場所の確保は依頼団体が行う。
メニューは子どもから高齢者まで楽しめるものを多数用意している。

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1 スポーツ推進委員数	人	22	21	21	30
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

軽スポーツ、レクリエーションに親しむ人を増やす。

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1 出前指導派遣者数	人	5	13	5	24
成果指標 2					

事業費の推移	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)	千円	33	133	217	222
正職員人件費 (B)	千円	380	372	373	395
総事業費 (A+B)	千円	413	505	590	617

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
7年度 地域や学校、団体からの申し込みに応じ、スポーツ推進委員を派遣して、軽スポーツを指導・普及する。	スポーツ推進委員報酬 140千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 3市交流スポーツ大会開催事業

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市、札幌市厚別区、北広島市の市民を対象に実施する交流事業の一つで、スポーツ部門ではパークゴルフ大会を3市持ち回りで開催する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	大会数	大会	0	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

近隣市の地域住民がスポーツ大会を通じて交流し、親睦を深めるとともに、参加者の健康増進と技術の向上を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	市民の参加者数	人	0	89	70	70
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	0	102	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	372	0	0
総事業費 (A+B)		千円	0	474	0	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	令和7年度は江別市での開催はない。（札幌市厚別区で開催予定）	なし

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ大会等振興補助事業

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般財団法人江別市スポーツ振興財団

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	対象団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・江別市スポーツ振興財団が行うスポーツ大会開催事業、健康体力づくり指導相談事業、スポーツ指導者養成事業に対して補助を行う。
 ・「江別市スポーツ振興財団運営費等補助金交付要領」に基づき、一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し定額を補助する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	40,842	39,780	41,317	41,742
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

健康づくりに興味・関心を持ち、大会参加を視野に入れたスポーツ活動を日常的に継続できる習慣を身につけ、生涯スポーツの基盤を構築する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	参加者数	人	5,643	5,862	7,000	7,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	40,842	39,780	41,317	41,742
正職員人件費 (B)		千円	760	743	746	790
総事業費 (A+B)		千円	41,602	40,523	42,063	42,532

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し、補助金を支出する。	補助金 41,742千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：屋内体育施設管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民体育館、大麻体育館、青年センター、東野幌体育館

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	施設数	施設	4	4	4	4
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	215,119	215,520	212,131	214,123
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	利用者数（4館合計）	人	362,802	408,272	500,000	500,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	215,119	215,520	212,131	214,123
正職員人件費 (B)		千円	2,281	2,230	2,239	2,371
総事業費 (A+B)		千円	217,400	217,750	214,370	216,494

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料 214,123千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：トッパスリート交流推進事業

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市トッパスリート交流推進事業実施要綱」に基づき、日本代表・プロ相当クラスのスポーツ合宿団体に対し、合宿時の送迎サービスの提供、道立野幌総合運動公園等の施設使用料の補助、市内宿泊施設利用時の宿泊料補助、江別特産品の提供を行う。
また、市民がトッパスリート等と交流するための機会を提供する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	合宿・交流情報発信回数	回	1	10	15	10
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

スポーツ合宿の誘致、支援活動を通じ、市民の健康づくり、スポーツへの関心度を高めるとともに、トッパスリートなどとの交流により、スポーツ技術の向上と市民スポーツ活動の活性化を図る。
また、江別市の紹介や人的交流を通じたシティプロモートも進めていく。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	合宿を行った団体数	団体	6	1	0	2
成果指標 2	市民との交流事業数	回	6	8	8	8

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	1,456	653	4,320	2,356
正職員人件費 (B)		千円	5,323	5,203	5,225	5,533
総事業費 (A+B)		千円	6,779	5,856	9,545	7,889

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	- 合宿団体への送迎バス等による輸送に関する支援 - 道立野幌総合運動公園等の市内施設利用料の補助 - 市内宿泊団体への宿泊施設利用料の補助 - シティプロモートのための江別の特産品提供 - トッパスリート等との交流機会の提供 - 江別市にゆかりのある選手がオリンピック等に出場した場合の応援看板作成	- 送迎バス等賃借料 400千円 - 道立野幌総合運動公園等市内施設利用料補助 600千円 - 市内宿泊施設利用料補助 600千円 - 特産品提供経費 60千円 - スポーツ教室等開催経費 550千円 - 選手応援看板作成費用 146千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：総合型地域スポーツクラブ支援事業

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

総合型地域スポーツクラブのPRを支援し、市民に情報提供を行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	PR支援回数	回	3	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

総合型地域スポーツクラブの活動が活性化することにより、市民のスポーツの機会が充実する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	クラブ数	団体	3	3	3	2
成果指標 2	クラブ会員数	人	363	395	400	350

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	380	372	373	395
総事業費 (A+B)		千円	380	372	373	395

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	市内の総合型地域スポーツクラブを広報等で紹介し、市民に情報提供を行う。	人件費事業のため予算措置なし

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：特別支援学校フットサル大会開催支援事業

スポーツ課 スポーツ係

政 策	7 生涯学習・文化・スポーツ			戦 略						
取 組 の 基本方針	(3) 市民スポーツ活動の充実			具体的施策						
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

最寄駅等から会場まで送迎バスによる輸送を行うなど、障がい者のスポーツ大会の開催を支援する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	大会参加学校数	校	15	19	20	20
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

障がい者のスポーツ競技の大会開催を支えていくことで、障がい者（児）への理解を深め、多様な主体がスポーツに取り組める環境づくりを図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	来場者数	人	710	750	790	790
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	617	393	376	484
正職員人件費 (B)		千円	380	372	746	790
総事業費 (A+B)		千円	997	765	1,122	1,274

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	- 最寄り駅等から会場までの送迎支援 - 大会記念品の贈呈	- 最寄り駅等から会場までのバス運行に係る経費 284千円 - 大会記念品贈呈経費 150千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小中学生国内交流研修事業

生涯学習課 青少年係

政 策	8 協働・共生			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

国内交流研修訪問団（小中学生、引率者）

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	0	16	16	16
対象指標 2	土佐市からの研修訪問人数	人	0	16	16	16

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・友好都市土佐市との相互交流
派遣：＜事前研修＞8月下旬～10月上旬／土佐市・江別市の概要学習、交流会プログラム企画等
＜実地交流研修＞10月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学
受入：＜土佐市訪問団受入＞1月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学
- ・事業集録作成
- ・交流研修訪問団に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を支出する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	0	1,095	1,249	1,153
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

土佐市との教育交流の中から児童生徒の友好都市への認識を深めるとともに、様々な生活文化や風土にふれ、豊かな感性が養われるようになる。また、異なる文化等に触れることで、自分の住む地域を見つめ直し、江別市への理解を深めて郷土愛を育む。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	0	4,174	2,636	3,773
成果指標 2	訪問した学校の児童生徒数	人	0	1,149	896	949

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	0	1,526	1,751	1,615
正職員人件費 (B)		千円	1,901	3,717	4,478	3,952
総事業費 (A+B)		千円	1,901	5,243	6,229	5,567

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	・事前研修、交流研修の実施 ・ホームステイ、体験入学、施設見学 ・事業収録の作成、報告会	・引率教諭、同行職員旅費 452千円 ・研修訪問団への補助金 1,153千円	

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：国際交流情報提供事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	8 協働・共生			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 国際交流の推進			具体的施策					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・市内通勤、通学者

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

日本語が堪能で地域の国際化事業に理解と意欲のある外国人を市国際交流員（CIR）として継続的に雇用し、以下の事業を実施する。

1. 文書、刊行物等の翻訳、監修
2. 国際交流事業の企画、立案、実施協力
3. 地域住民・市職員に対する語学指導への協力
4. 地域住民の異文化理解交流活動への協力
5. 海外との連絡・調整、通訳、訪問客の接遇
6. 在住外国人へのサポート

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	国際交流員が係った地域国際化のための講座・イベント等開催回数	回	177	194	189	190
活動指標 2	海外と江別市とで交わした行政文書等の数	通	200	528	500	500

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

1. 地域住民等が国際感覚や国際意識を持つ
2. 地域住民等の異文化に対する理解が深まる
3. 在住外国人にも住みやすいまちになる

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	国際交流員が係った地域国際化のための講座・イベント等の参加者数	人	846	1,307	1,361	1,400
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	3,730	4,000	4,349	4,816
正職員人件費 (B)		千円	1,141	1,115	1,120	1,186
総事業費 (A+B)		千円	4,871	5,115	5,469	6,002

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	国際交流員が以下の事業を実施する。 ・各種講演（出前講座、語学教室等） ・文書、刊行物等の翻訳 ・市ホームページの作成、更新 ・姉妹都市グresham市との連絡調整、文書等管理 ・姉妹都市グresham市との交流事業の実施（中高生相互派遣事業等） ・在住外国人への情報提供、相談受付 ほか	・国際交流員報酬 4,788千円 ・国際交流員旅費 20千円 ・パンフレット等印刷製本費 8千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：中学生国際交流事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	8 協働・共生			戦 略					
取組の 基本方針	(3) 国際交流の推進			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

海外交流研修訪問団（中学生、引率者）

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	0	8	8	8
対象指標 2	グレシャムからの訪問人数	人	0	0	7	7

手段（事務事業の内容、やり方）

○姉妹都市グレシャム市との相互交流を行う。
 ・派遣：＜事前研修＞8月下旬～11月下旬／グレシャム市・江別市の概要学習、語学研修、交流会プログラム企画等
 ＜実地研修＞11月下旬～12月上旬／ホームステイ、体験入学、施設見学、体験学習
 ・受入：＜グレシャム市訪問団受入＞2月上旬～2月中旬／ホームステイ、体験入学、施設見学、体験学習
 ・事業報告書作成
 ○研修訪問団に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	0	1,028	1,500	2,039
活動指標 2	アメリカ文化習得のための学習会開催回数	回	0	7	7	7

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

グレシャム市との相互交流を通じ、自国と相手国の文化や歴史に対する理解を深め、国際社会に通用する豊かな国際感覚が養われるようになる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	0	428	1,238	1,238
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	0	1,988	2,894	3,228
正職員人件費 (B)		千円	1,901	1,858	1,866	1,976
総事業費 (A+B)		千円	1,901	3,846	4,760	5,204

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	＜派遣＞ 事前研修、実地研修の実施 ＜受入＞ 体験入学、施設見学 ＜事業収録作成＞	・引率教諭旅費 577千円 ・国際交流員旅費 577千円 ・研修訪問団への補助金 2,039千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別市都市提携委員会補助金

生涯学習課 生涯学習係

政 策	8 協働・共生			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 国際交流の推進			具体的施策					
開始年度	昭和52年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市都市提携委員会

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	江別市都市提携委員会委員数	人	44	44	44	42
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

姉妹・友好都市交流を行う江別市都市提携委員会に対し、その事業費を補助する。

補助金内訳：学生相互派遣交流にかかる経費 ほか

（江別市都市提携委員会補助金交付要綱）

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	100	874	600	600
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市都市提携委員会に補助を行うことで、当委員会が以下の成果をあげることができる。

1. 異文化に触れることで理解を深め、広い視野をもった市民を増やす
2. 市民ボランティアとして活躍でき、国際交流の架け橋となるような人材を増やす
3. 姉妹都市・友好都市との交流を通じて自分のまちの歴史や現状を客観的に理解することにより、郷土を愛する心を育むと同時に、国際感覚を身につけることで国際社会やまちづくりに貢献できる人材を増やす

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	姉妹都市・友好都市派遣人数	人	0	2	2	2
成果指標 2	姉妹都市・友好都市受入人数	人	0	1	2	2

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	100	874	600	600
正職員人件費 (B)		千円	380	372	373	395
総事業費 (A+B)		千円	480	1,246	973	995

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	以下の事業を実施する江別市都市提携委員会に対し、補助金を支出する。 ・姉妹都市グレンシャム市との高校生相互派遣事業 ・姉妹都市・友好都市を訪問する団体への助成 ・姉妹都市・友好都市に関する市民へのPR ・国際交流イベントへの参加及び展示物等出展協力 ・友好都市高知県土佐市からの訪問団との交流	・江別市都市提携委員会の事業実施に対する補助金 600千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民交流施設関連経費（江別国際センター施設管理費補助金）

生涯学習課 生涯学習係

政 策	8 協働・共生			戦 略					
取組の 基本方針	(3) 国際交流の推進			具体的施策					
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市国際交流推進協議会

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	江別市国際交流推進協議会の構成団体数	団体	24	24	24	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市内の大学や国際交流団体等で構成された組織である「江別市国際交流推進協議会」に対し、同協議会が運営・運営している「江別国際センター」の維持管理にかかる経費の一部を補助する。
 補助金内訳：施設管理費、人件費等の一部
 （江別国際センター補助金交付要綱）

※令和元年12月「市民交流施設ぱらっと」へ移転以降の実績（前事業名：江別国際センター施設管理費等補助金）

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	2,322	2,523	2,580	2,760
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

国際交流施設の運営が安定することにより、国際交流事業が積極的に推進される。

※令和元年12月「市民交流施設ぱらっと」へ移転以降の実績（前事業名：江別国際センター施設管理費等補助金）

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	利用者数	人	7,393	7,733	8,699	8,699
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	2,322	2,523	2,580	2,760
正職員人件費 (B)		千円	1,141	1,115	1,120	1,186
総事業費 (A+B)		千円	3,463	3,638	3,700	3,946

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	以下の事業を実施する江別市国際交流推進協議会に対し、活動拠点となる江別国際センターの施設維持管理のための補助金を支出する。 ・在住外国人と市民の交流イベントの実施 ・会報、ホームページ等での広報、情報提供 ・外国人に対するホームステイや通訳等のサポート支援 ・主に外国人技能実習生を対象とした日本語教室の開講ほか	江別国際センター施設維持管理等に対する補助金 2,760千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	